

第2章 調査結果の分析

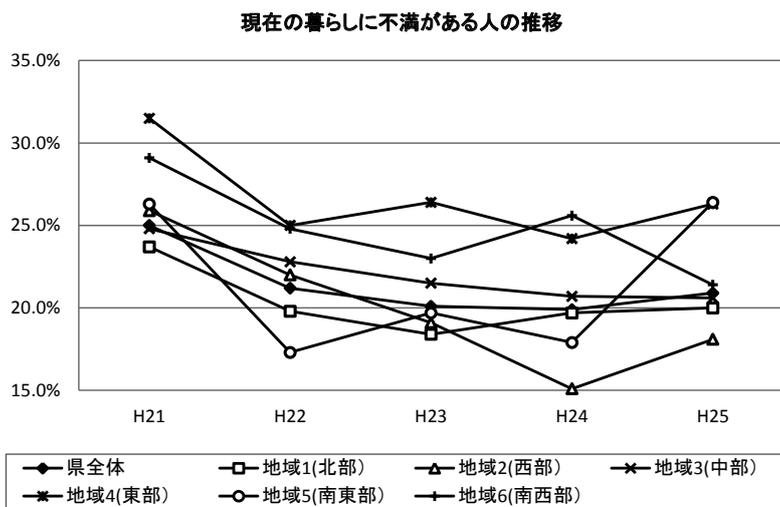
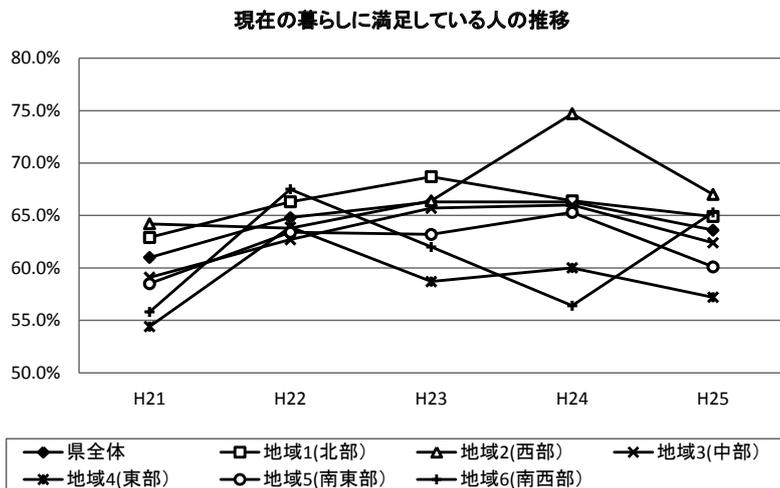
1 県民の生活全般について

1-1 現在の暮らし向きの実感

(1) 経年比較

図表 現在の暮らし向きの実感（経年比較／県全体、地域別）

		満足している	不満である
県全体	H21	61.0%	25.0%
	H22	64.8%	21.2%
	H23	66.3%	20.1%
	H24	66.3%	19.9%
	H25	63.6%	20.9%
地域1(北部)	H21	62.9%	23.7%
	H22	66.3%	19.8%
	H23	68.7%	18.4%
	H24	66.4%	19.7%
	H25	64.9%	20.0%
地域2(西部)	H21	64.2%	25.9%
	H22	63.8%	22.0%
	H23	66.4%	19.1%
	H24	74.7%	15.1%
	H25	67.0%	18.1%
地域3(中部)	H21	59.1%	24.8%
	H22	62.7%	22.8%
	H23	65.7%	21.5%
	H24	66.0%	20.7%
	H25	62.4%	20.6%
地域4(東部)	H21	54.4%	31.5%
	H22	63.9%	25.0%
	H23	58.7%	26.4%
	H24	60.0%	24.2%
	H25	57.2%	26.3%
地域5(南東部)	H21	58.5%	26.3%
	H22	63.4%	17.3%
	H23	63.2%	19.7%
	H24	65.3%	17.9%
	H25	60.1%	26.4%
地域6(南西部)	H21	55.8%	29.1%
	H22	67.5%	24.8%
	H23	62.0%	23.0%
	H24	56.4%	25.6%
	H25	65.3%	21.4%



(注) 上記図表は、問1を「満足している」（「満足している」＋「十分とはいえないが一応満足している」）と「不満である」（「やや不満である」＋「不満である」）に再集計した結果である。母数については4～9ページの「5 回答者の状況」参照。

■ 県全体

現在の暮らし向きの実感について5カ年の調査結果を比較すると、「満足」している人は昨年度までの増加傾向から一転して、今年度は減少となっています。「不満」を抱えている人は増加しています。

■ 地域別

「満足」している人は、平成21年度と比較するとすべての地域で概ね増加していますが、平成24年度と比較すると、「地域6（南西部）」（8.9ポイント）のみ増加、その他のすべての地域においては減少しています。

「不満」を抱えている人は、平成21年度と比較すると「地域5（南東部）」をのぞくすべての地域で減少していますが、平成24年度と比較すると「地域3（中部）」「地域6（南西部）」をのぞくすべての地域で増加しています。

(2) 今年度調査結果

図表 現在の暮らし向きの実感（単一回答／県全体、地域別）



(注) 母数については4～9ページの「5 回答者の状況」参照。

■ 県全体

現在の暮らし向きの実感について、63.6%の人が「満足」（「満足している」＋「十分とはいえないが一応満足している」）をしています。一方、20.9%の人が「不満」（「やや不満である」＋「不満である」）を抱えています。

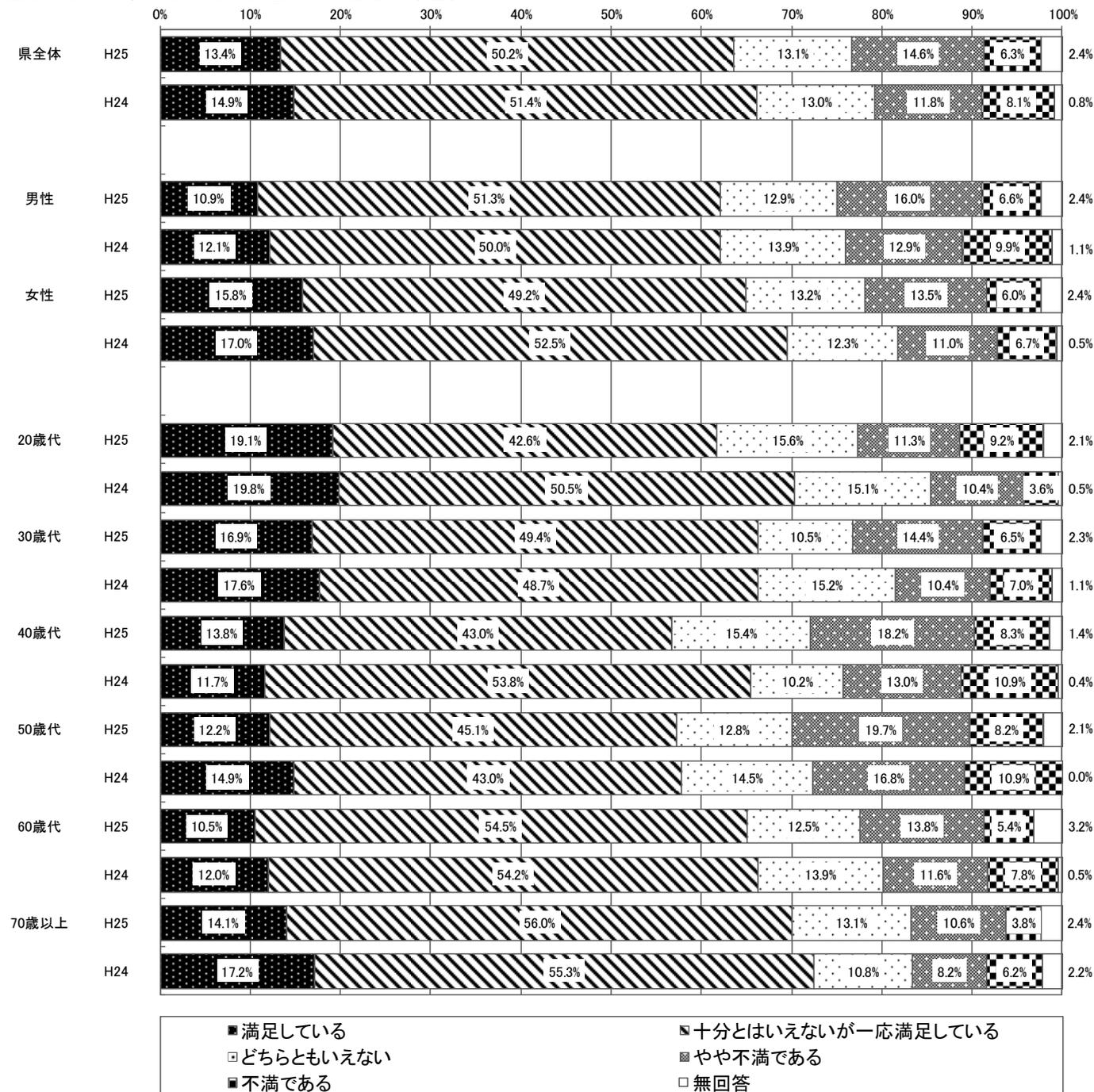
平成24年度と比較すると、「満足」している人が2.7ポイント減少し、「不満」を抱えている人が1.0ポイント増加しています。

■ 地域別

「満足」している人が最も多いのは、「地域2（西部）」（67.0%）で、「不満」を抱えている人が最も多いのは「地域5（南東部）」（26.4%）となっています。

平成24年度と比較すると、「不満」を抱えている人は「南西部」（4.2ポイント減）「中部」（0.1ポイント減）をのぞくすべての地域で増加しています。

図表 現在の暮らし向きの実感（単一回答／県全体、性別、年齢別）



(注) 母数については4～9ページの「5 回答者の状況」参照。

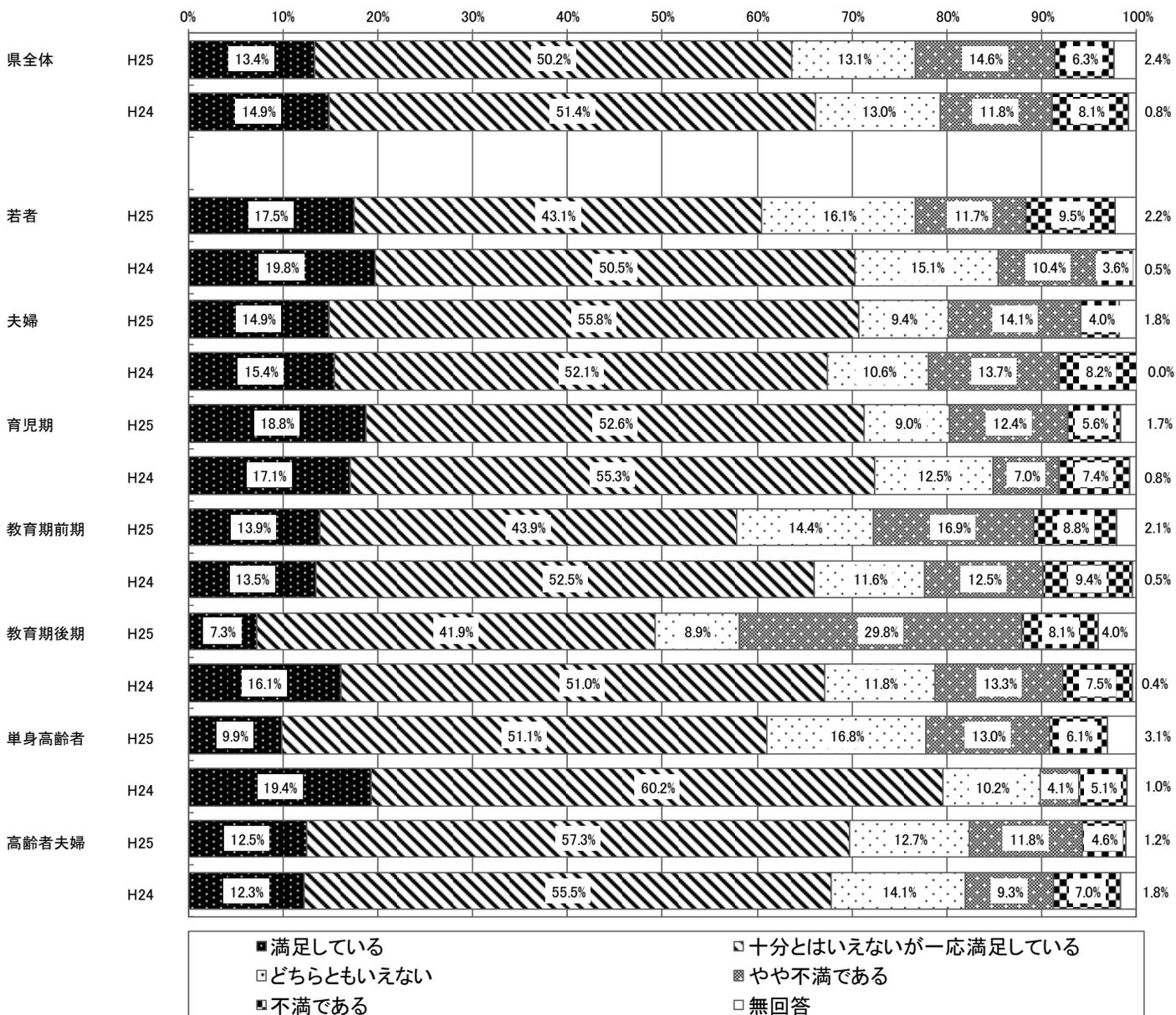
■性別

「満足」している人は、「女性」（65.0%）が「男性」（62.2%）と比べ多くなっています。平成24年度と比較すると、「満足」している人は「男性」（0.1ポイント）は増加、「女性」（4.5ポイント）は減少しています。

■年齢別

「満足」している人が最も多いのは、「70歳以上」（70.1%）、「不満」を抱いている人が最も多いのは、「50歳代」（27.9%）となっています。平成24年度と比較すると、「満足」している人は「30歳代」をのぞくすべての年齢層で減少しています。「不満」を抱いている人は「60歳代」「70歳代以上」をのぞくすべての年齢層で増加しています。

図表 現在の暮らし向きの実感（単一回答／県全体、ライフステージ別）



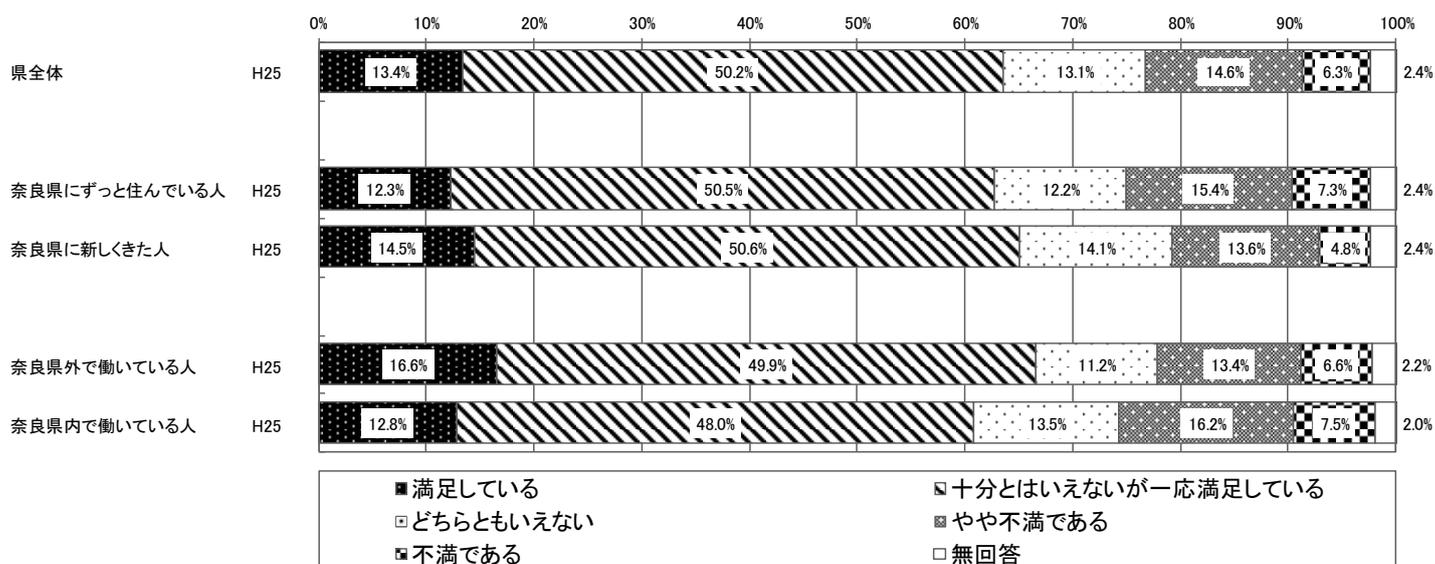
(注) 母数については4～9ページの「5 回答者の状況」参照。

■ ライフステージ別

「満足」している人が最も多いのは、「育児期」（71.4%）、「不満」を抱いている人が最も多いのは、「教育期後期」（37.9%）となっている。

平成24年度と比較すると、「満足」している人は「教育期後期」（17.9ポイント減）、「単身高齢者」（18.6ポイント減）で減少しています。「不満」を抱いている人は「教育期後期」（17.1ポイント増）で最も増加しています。

図表 現在の暮らし向きの実感（単一回答／県全体、旧住民・新住民別、奈良での就労別）



(注) 母数については4～9ページの「5 回答者の状況」参照。

■旧住民・新住民別

「満足」している人は、「奈良県に新しくきた人」（65.1%）が「奈良県にずっと住んでいる人」（62.8%）と比べ多くなっています。

■奈良での就労別

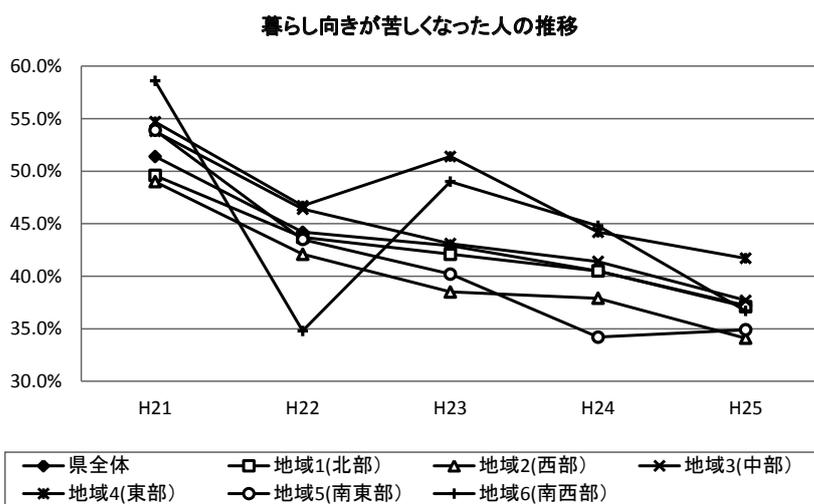
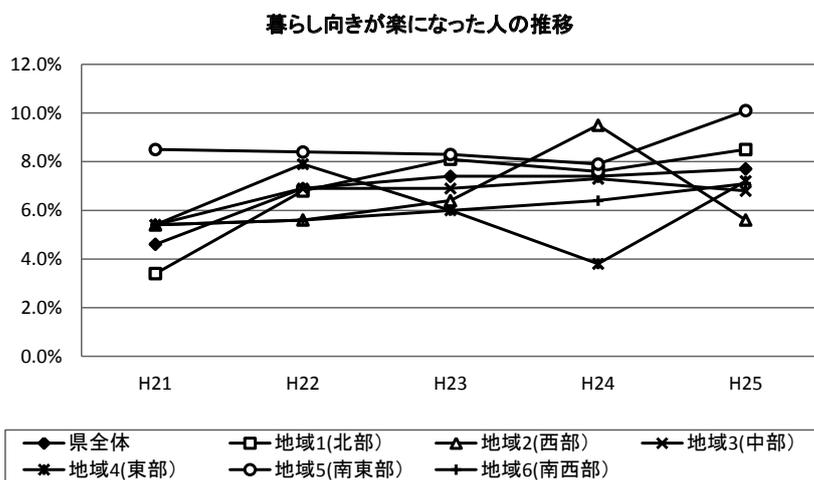
「満足」している人は、「奈良県外で働いている人」（66.5%）が「奈良県内で働いている人」（60.8%）と比べ多くなっています。

1-2 1年前と比較した暮らし向きの実感

(1) 経年比較

図表 1年前と比較した暮らし向きの実感（経年比較／県全体、地域別）

		楽になった	苦しくなった
県全体	H21	4.6%	51.4%
	H22	6.9%	44.2%
	H23	7.4%	42.9%
	H24	7.4%	40.5%
	H25	7.7%	37.2%
地域1(北部)	H21	3.4%	49.6%
	H22	6.8%	43.7%
	H23	8.1%	42.1%
	H24	7.6%	40.5%
地域2(西部)	H21	5.4%	49.0%
	H22	5.6%	42.1%
	H23	6.4%	38.5%
	H24	9.5%	37.9%
地域3(中部)	H21	5.4%	53.8%
	H22	6.9%	46.4%
	H23	6.9%	43.1%
	H24	7.3%	41.4%
地域4(東部)	H21	5.4%	54.7%
	H22	7.9%	46.7%
	H23	6.0%	51.4%
	H24	3.8%	44.2%
地域5(南東部)	H21	8.5%	53.9%
	H22	8.4%	43.5%
	H23	8.3%	40.2%
	H24	7.9%	34.2%
地域6(南西部)	H21	5.4%	58.6%
	H22	5.6%	34.8%
	H23	6.0%	49.0%
	H24	6.4%	44.8%
H25	7.1%	36.7%	



(注) 上記図表は、問2を「楽になった」（「とても楽になった」＋「少し楽になった」）と「苦しくなった」（「少し苦しくなった」＋「とても苦しくなった」）に再集計した結果である。
母数については4～9ページの「5 回答者の状況」参照。

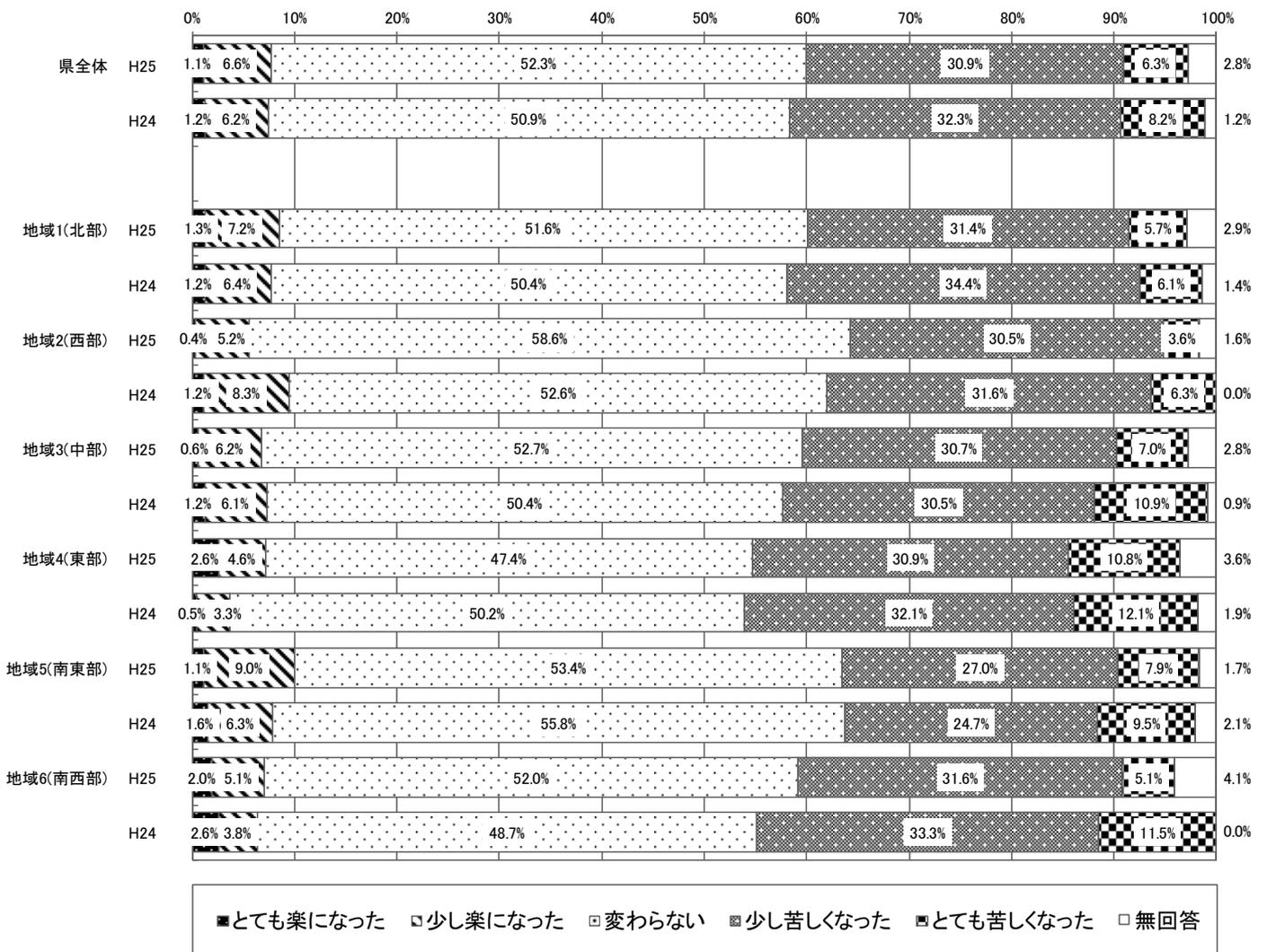
■ 県全体

「楽になった」と感じている人は平成21年度から増加傾向にあります。一方で、「苦しくなった」と感じている人は平成21年度から減少傾向にあります。

■ 地域別

「楽になった」と感じている人は、「地域6（南西部）」で平成21年度以降、増加傾向にあります。「苦しくなった」と感じている人は、平成21年度以降すべての地域で減少傾向にあります。

図表 1年前と比較した暮らし向きの実感（経年比較／県全体、地域別）



(注) 母数については4～9ページの「5 回答者の状況」参照。

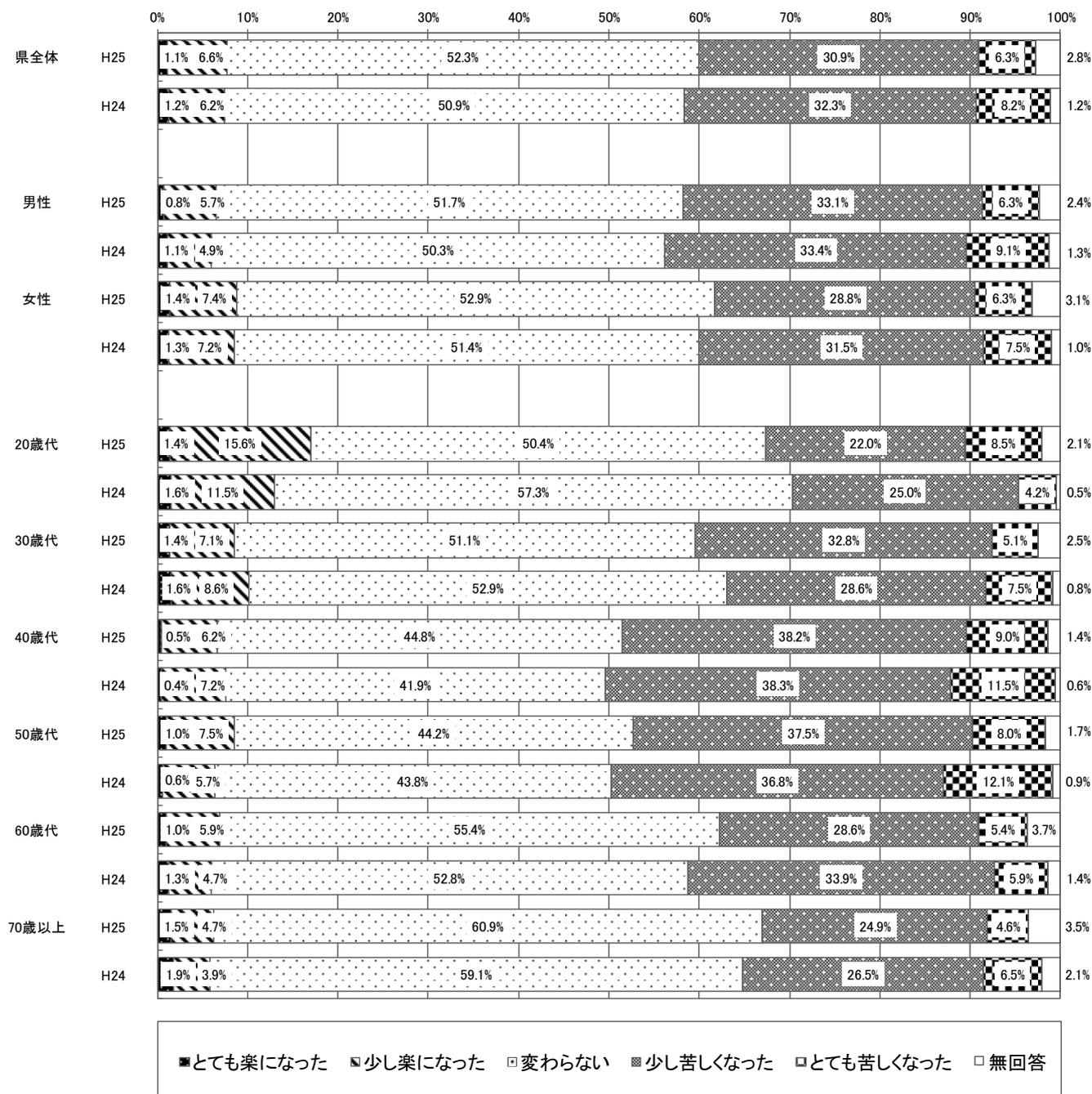
■県全体

1年前と比較した暮らし向きの実感について、37.2%の人が「苦しくなった」（「少し苦しくなった」＋「とても苦しくなった」）と感じています。平成24年度と比較すると、「苦しくなった」と感じている人は、3.3ポイント減少しています。

■地域別

「苦しくなった」と感じている人が最も多いのは、「地域4（東部）」（41.7%）となっています。平成24年度と比較すると、「苦しくなった」と感じている人は「地域5（南東部）」（0.7ポイント増）をのぞくすべての地域で減少しています。

図表 1年前と比較した暮らし向きの実感（経年比較／県全体、性別、年齢別）



(注) 母数については4～9ページの「5 回答者の状況」参照。

■性別

「苦しくなった」と感じている人は、「男性」（39.4%）が「女性」（35.1%）と比べ多くなっています。

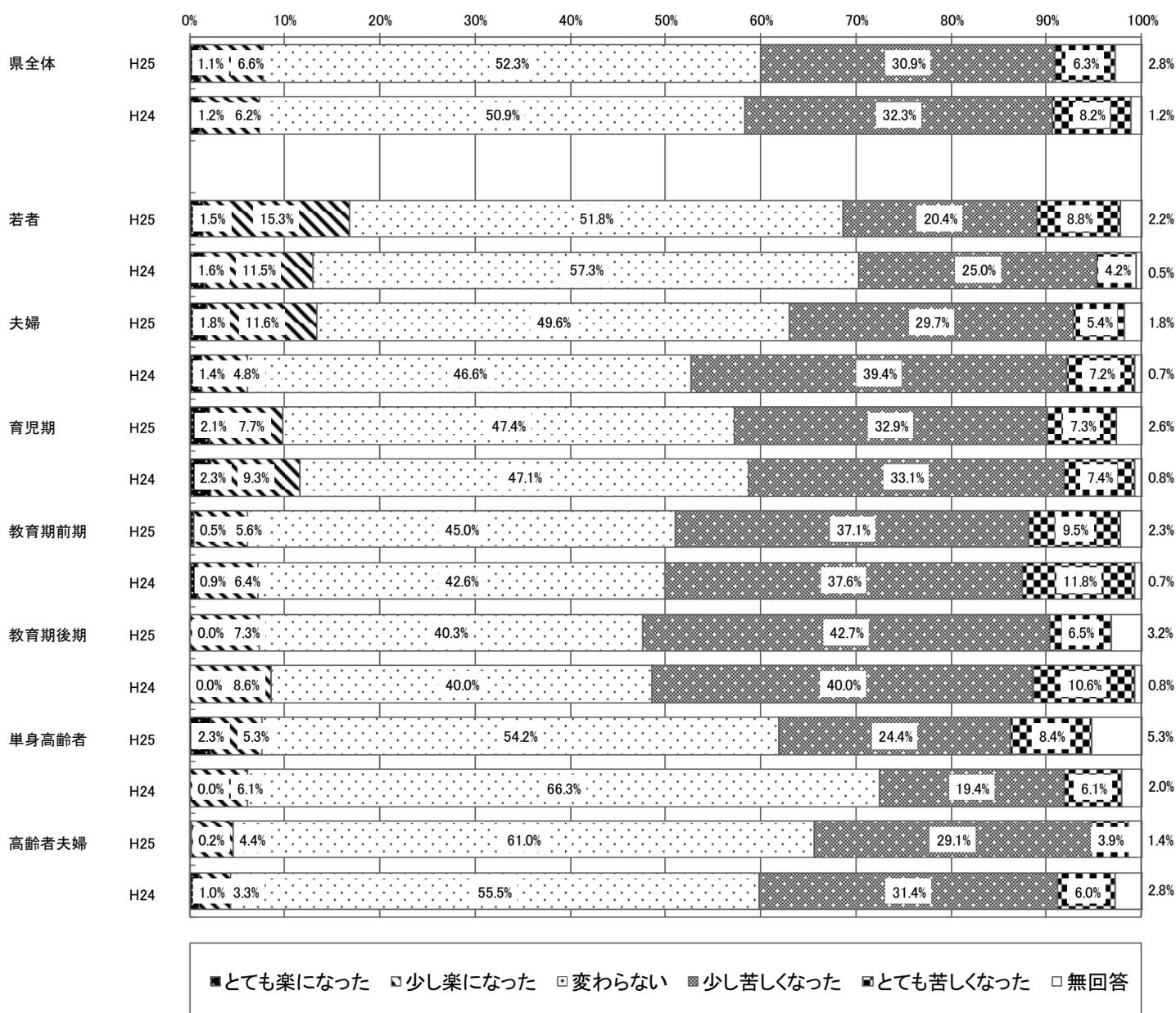
平成24年度と比較すると、「苦しくなった」と感じている人は「男性」（3.1ポイント減）、「女性」（3.9ポイント減）共に減少しています。

■年齢別

「苦しくなった」と感じている人は、「40歳代」（47.2%）、「50歳代」（45.5%）で他の年齢層と比べ多くなっています。

平成24年度と比較すると、「苦しくなった」と感じている人は「20歳代」（1.3ポイント増）「30歳代」（1.8ポイント増）をのぞくすべての年齢層で減少しています。

図表 1年前と比較した暮らし向きの実感（経年比較／県全体、ライフステージ別）



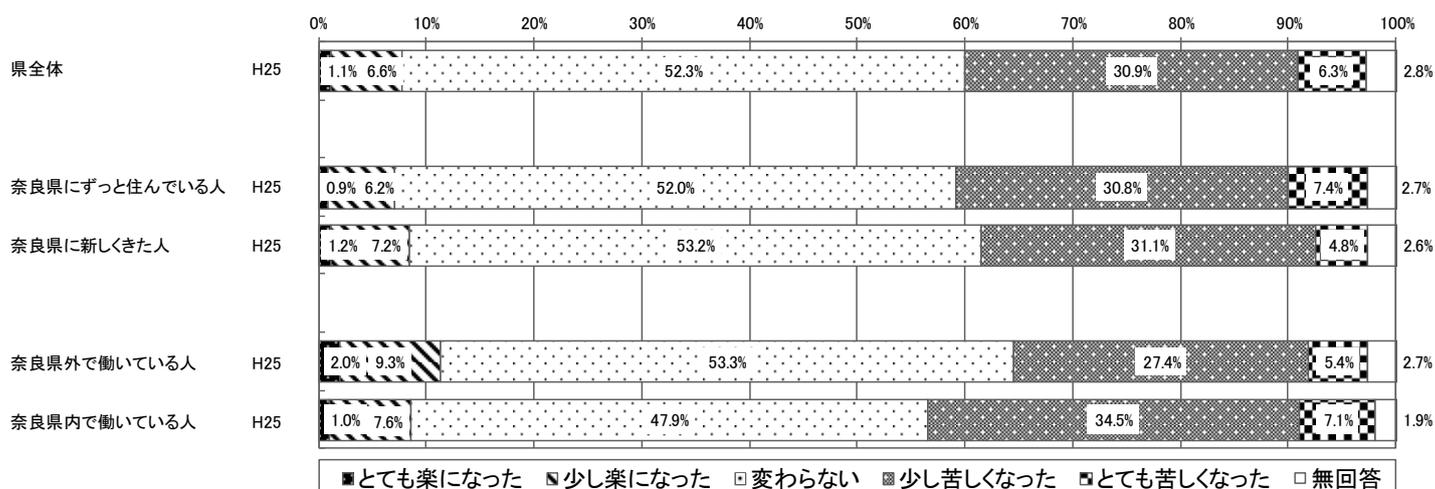
(注) 母数については4～9ページの「5 回答者の状況」参照。

■ライフステージ別

「苦しくなった」と感じている人は、「教育期後期」（49.2%）「教育期前期」（46.6%）で他のライフステージと比べ多くなっています。

平成24年度と比較すると、「苦しくなった」と感じている人は「単身高齢者」（7.3ポイント増）のみ増加しています。

図表 1年前と比較した暮らし向きの実感（県全体、旧住民・新住民別、奈良での就労別）



(注) 母数については4～9ページの「5 回答者の状況」参照。

■旧住民・新住民別

「苦しくなった」と感じている人は、「奈良県にずっと住んでいる人」(38.2%)が「奈良県に新しくきた人」(35.9%)と比べ多くなっています。

■奈良での就労別

「苦しくなった」と感じている人は、「奈良県内で働いている人」(41.6%)が「奈良県外で働いている人」(32.8%)と比べ多くなっています。

1-3 1年前と比較して暮らし向きが苦しくなった理由

(1) 今年度調査結果

図表 暮らし向きが苦しくなった理由

(複数回答／県全体、地域別、性別、年齢別、ライフステージ別、旧住民・新住民別、奈良での就労別)

(上段：平成25年度結果、下段：前年度からの増減)

		は給 減料 少し や収 益が 増え ない 、ま た	た税 金や 保 険料 の支 払い が増 え	で家 族の 増加 や物 価の 上昇 など	る家 や自 動車 、家 電な どに かか	ら教 育に かか る費 用が 増え たか	手失 業、 退職 、病 気な どで 働	出結 婚、 出 産、 病 気な ど特 別な	が利 率の 低下 など により 預貯 金	経家 費業 や商 売な どに かか る営 業	そ 他	無 回 答
県全体		64.5% 0.7	41.3% 4.7	29.8% 5.6	27.2% 3.0	23.4% ▲ 0.9	20.1% 1.0	19.0% 1.9	15.2% ▲ 3.6	6.8% ▲ 1.3	9.2% ▲ 0.1	1.5% ▲ 0.2
地域別	地域1(北部)	64.5% ▲ 3.1	39.4% 0.2	29.1% 1.7	25.9% 0.8	25.5% 1.9	20.3% 4.1	20.5% 1.3	15.5% ▲ 5.6	5.8% ▲ 1.2	10.0% 2.6	1.0% ▲ 0.3
	地域2(西部)	64.7% 6.1	55.3% 16.9	30.6% 3.3	30.6% 16.5	27.1% 4.9	9.4% ▲ 11.8	16.5% 4.4	12.9% ▲ 1.2	4.7% 0.7	3.5% ▲ 6.6	2.4% ▲ 0.6
	地域3(中部)	65.4% 0.1	41.3% 7.0	29.7% 6.7	23.4% ▲ 1.8	21.2% ▲ 7.3	21.2% ▲ 1.4	17.5% 3.6	15.2% ▲ 1.2	5.6% ▲ 3.2	8.6% ▲ 0.5	1.5% 0.0
	地域4(東部)	64.2% 6.9	44.4% 7.9	30.9% 12.2	40.7% 18.8	16.0% ▲ 9.0	27.2% 2.2	22.2% 4.5	19.8% 0.0	9.9% 0.5	7.4% ▲ 5.1	0.0% ▲ 2.1
	地域5(南東部)	67.7% 15.5	38.7% 4.4	40.3% 29.9	41.9% 12.0	22.6% 1.7	22.6% 7.7	16.1% ▲ 3.3	11.3% ▲ 6.6	11.3% ▲ 3.6	12.9% ▲ 3.5	4.8% 1.8
	地域6(南西部)	52.8% 2.8	33.3% 16.6	16.7% 0.0	8.3% ▲ 19.5	19.4% 5.5	13.9% ▲ 5.5	13.9% ▲ 5.5	13.9% 0.0	19.4% 5.5	13.9% 0.0	2.8% 0.0
性別	男性	67.2% 2.6	42.2% 3.1	27.7% 6.0	27.3% 3.9	19.6% ▲ 1.1	20.3% 0.2	16.1% 1.5	13.2% ▲ 6.1	8.9% ▲ 0.1	8.5% ▲ 2.0	1.6% ▲ 1.1
	女性	61.7% ▲ 1.4	40.3% 5.8	31.9% 5.6	27.0% 2.0	27.2% ▲ 0.3	19.6% 1.5	22.0% 2.7	17.3% ▲ 1.0	4.7% ▲ 2.7	9.9% 1.7	1.4% 0.5
年齢別	20歳代	72.1% 11.4	48.8% 11.3	41.9% 24.0	23.3% ▲ 7.1	14.0% 1.5	18.6% 4.3	30.2% 5.2	4.7% 1.1	2.3% 0.5	7.0% ▲ 3.7	2.3% ▲ 1.3
	30歳代	76.1% 2.8	50.7% 7.0	42.5% ▲ 1.2	35.8% 2.5	35.8% ▲ 2.7	12.7% ▲ 2.1	24.6% 5.3	7.5% ▲ 2.1	2.2% ▲ 1.5	6.7% 0.8	0.0% ▲ 0.7
	40歳代	72.2% 1.9	35.6% 4.2	33.7% 7.0	22.9% ▲ 1.3	53.7% ▲ 4.4	11.7% 1.5	9.8% 2.2	11.7% 3.2	5.9% 0.4	6.8% 2.1	1.5% ▲ 1.0
	50歳代	74.7% ▲ 3.7	37.3% 4.5	24.4% 4.6	30.0% 5.9	28.6% 2.3	16.6% ▲ 3.2	19.4% 1.7	12.4% ▲ 6.1	7.8% ▲ 3.4	4.6% ▲ 5.3	0.5% ▲ 0.4
	60歳代	58.9% 1.5	44.6% 5.8	26.0% 7.8	27.7% 5.6	3.9% 1.6	38.5% 7.5	20.3% ▲ 0.6	19.5% ▲ 9.2	9.5% ▲ 1.7	10.0% 0.3	1.3% ▲ 0.3
	70歳代以上	42.5% 3.1	39.5% ▲ 0.5	25.0% 2.8	23.0% 4.1	3.0% 0.8	16.0% ▲ 1.2	20.5% 1.1	24.5% ▲ 5.5	7.5% ▲ 0.8	18.0% 1.9	3.5% 1.3
	ライフステージ別	若者	75.0% 14.3	47.5% 10.0	45.0% 27.1	22.5% ▲ 7.9	15.0% 2.5	17.5% 3.2	27.5% 2.5	5.0% 1.4	2.5% 0.7	7.5% ▲ 3.2
夫婦		70.1% ▲ 2.0	46.4% 3.0	16.5% ▲ 1.1	25.8% ▲ 1.4	9.3% 1.2	32.0% 7.7	29.9% 6.4	19.6% ▲ 1.0	8.2% 0.1	6.2% ▲ 0.4	0.0% 0.0
育児期		70.2% 3.9	50.0% 0.0	53.2% 3.2	37.2% 2.6	46.8% ▲ 6.1	13.8% 0.3	27.7% 0.8	8.5% ▲ 2.1	4.3% ▲ 2.4	6.4% 3.5	1.1% 0.1
教育期前期		70.6% 0.8	34.8% ▲ 0.6	33.3% ▲ 1.1	26.9% ▲ 1.2	67.7% 2.4	10.4% 1.7	12.4% 3.4	7.0% ▲ 2.7	3.0% ▲ 4.3	4.5% 0.7	1.0% ▲ 1.1
教育期後期		75.4% 0.0	36.1% 3.0	27.9% 1.7	23.0% ▲ 1.6	62.3% ▲ 6.2	11.5% 5.3	9.8% ▲ 3.3	9.8% ▲ 0.2	4.9% ▲ 2.0	3.3% ▲ 0.5	0.0% ▲ 0.8
単身高齢者		30.2% ▲ 5.8	32.6% ▲ 3.4	23.3% 3.3	14.0% ▲ 2.0	0.0% ▲ 4.0	20.9% 4.9	18.6% 6.6	27.9% ▲ 4.1	0.0% ▲ 16.0	20.9% 12.9	4.7% 0.7
高齢者夫婦		48.3% 5.3	41.3% 2.2	22.4% 5.8	28.0% 10.1	0.7% 0.7	17.5% 0.3	21.0% ▲ 1.5	24.5% ▲ 3.3	9.1% ▲ 0.8	18.9% 2.3	3.5% 2.2
旧住民・新住民別	奈良県にずっと住んでいる人	68.2% -	42.8% -	29.9% -	27.8% -	22.0% -	19.3% -	18.4% -	16.3% -	9.5% -	7.6% -	1.1% -
	奈良県に新しくきた人	60.9% -	39.7% -	30.6% -	26.5% -	25.7% -	21.2% -	19.3% -	12.5% -	3.8% -	10.6% -	1.5% -
奈良での就労別	奈良県外で働いている人	73.1% -	39.6% -	27.6% -	21.6% -	32.8% -	16.4% -	9.7% -	11.2% -	6.7% -	10.4% -	1.5% -
	奈良県内で働いている人	80.3% -	39.8% -	30.0% -	28.8% -	31.1% -	11.7% -	16.7% -	11.0% -	11.0% -	6.6% -	0.2% -

(注) 集計結果は「県全体」の平成25年度の結果が多い項目順(「その他」を除く)に並べている。太字は「その他」を除いた平成25年度の結果の各属性区分の上位3項目を示し、下線を付した数値は最多項目を示している。また、網かけは平成24年度よりも5ポイント以上増えた項目を示している。なお、「-」は前年度未調査のため数値がないことを示している。母数は「苦しくなった」と回答した人数であり、4~9ページの「5 回答者の状況」とは異なる。

■県全体

1年前と比較して暮らし向きが「苦しくなった」と感じている人に対して、その理由を尋ねたところ、「給料や収益の減少」（64.5%）が最も多く、次いで「税金等の支払いの増加」（41.3%）、「毎日の生活費の増加」（29.8%）が多く挙げられており、また平成24年度と比較するとそれらの項目で値が高くなっています。

■地域別

すべての地域で「給料や収益の減少」が最も多く挙げられています。次いで、「地域5（南東部）」をのぞくすべての地域で「税金等の支払いの増加」が挙げられている一方で、「地域5（南東部）」では「家や自動車等の支出の増加」が挙げられています。

平成24年度と比較すると、「地域5（南東部）」で「毎日の生活費の増加」が29.9ポイントと大幅に増加、「地域6（南西部）」で「家や自動車等の支出の増加」が19.5ポイントと大幅に減少しています。

■性別

男女ともに「給料や収益の減少」を理由に挙げられる人が多く60.0%を越えており、次いで「税金等の支払いの増加」「毎日の生活費の増加」が挙げられています。

平成24年度と比較すると、男女ともに「毎日の生活費の増加」で5ポイント以上増加しています。

■年齢別

「40歳代」では「教育費用の増加」（53.7%）、「60歳代」は「働き手の減少」（38.5%）が他の年齢層と比べて多く挙げられています。

平成24年度と比較すると、「20歳代」で「毎日の生活費の増加」が24.0ポイント増加しています。

■ライフステージ別

「単身高齢者」をのぞくすべてのライフステージで「給料や収益の減少」が最も多く挙げられています。「単身高齢者」では「税金等の支払いの増加」が最も多く挙げられています。

平成24年度と比較すると、「若者」で「毎日の支払いの増加」が27.1ポイント増加しています。

■旧住民・新住民別

どちらの住民においても、「給料や収益の減少」が最も多く挙げられていますが、「奈良県にずっと住んでいる人」（68.2%）が「奈良県に新しくきた人」（60.9%）と比べて値が多くなっています。

■奈良での就労別

どちらの就業状況においても、「給料や収益の減少」が最も多く挙げられていますが、「奈良県内で働いている人」（80.3%）が「奈良県外で働いている人」（73.1%）と比べて値が多くなっています。

(2) 暮らし向きの悪化の程度とその理由

図表 暮らし向きの悪化の程度とその理由（設問間クロス／県全体）

順位	項目 番号	問3 暮らし向き悪化理由	問2 暮らし向きの変化		
			計	少し苦しく なった	とても苦しく なった
1	1	給料や収益が増えない、または減少したから	665 64.5%	549 64.1%	116 66.3%
2	8	税金や保険料の支払いが増えたから	426 41.3%	348 40.7%	78 44.6%
3	4	家族の増加や物価の上昇などで毎日の生活費が増えたから	307 29.8%	257 30.0%	50 28.6%
4	7	家や自動車、家電などにかかる支出が増えたから	280 27.2%	234 27.3%	46 26.3%
5	6	教育にかかる費用が増えたから	241 23.4%	189 22.1%	52 29.7%
6	2	失業、退職、病気などで働き手が減ったから	207 20.1%	157 18.3%	50 28.6%
7	5	結婚、出産、病気など特別な出費があったから	196 19.0%	163 19.0%	33 18.9%
8	3	利率の低下などにより預貯金が目減りしたから	157 15.2%	140 16.4%	17 9.7%
9	9	家業や商売などにかかる営業経費が増えたから	70 6.8%	59 6.9%	11 6.3%
10	10	その他	95 9.2%	75 8.8%	20 11.4%
11	11	無回答	15 1.5%	9 1.1%	6 3.4%
合計			1,031 100.0%	856 100.0%	175 100.0%

(注) 上記図表は暮らし向きが「少し苦しくなった」または「とても苦しくなった」と感じている回答者がどのような理由で暮らし向きが悪化したのかを把握するため、問2と問3のクロス集計を行った結果である。
なお、対象者数は、問2で現在の暮らし向きが「少し苦しくなった」、「とても苦しくなった」と回答した人数である。

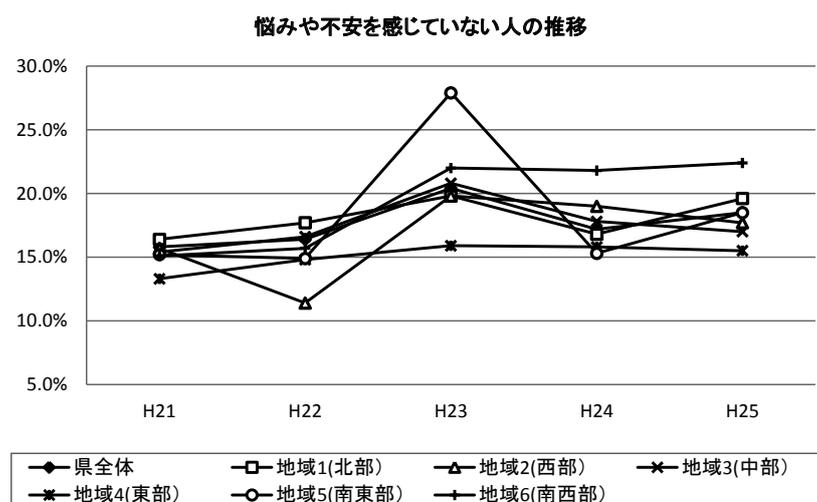
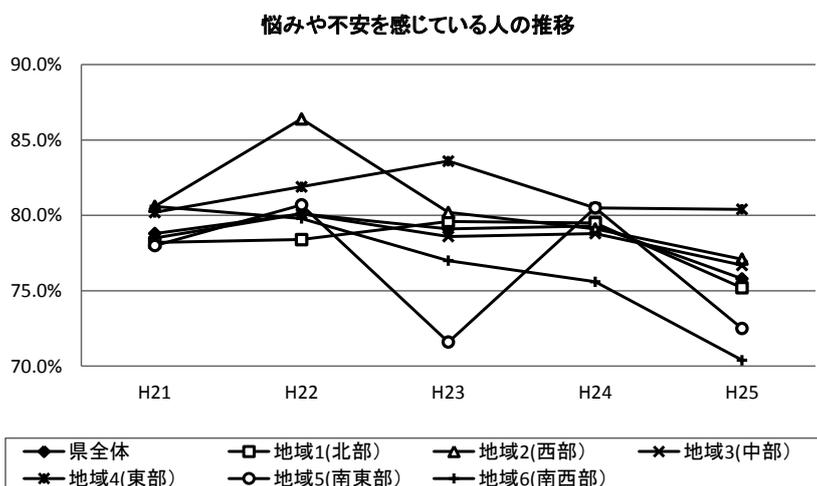
暮らし向きが「とても苦しくなった」と答えた人は、「少し苦しくなった」と答えた人と比べて、「失業、退職、病気などで働き手が減ったから」（10.3ポイント増）、「教育にかかる費用が増えたから」（7.6ポイント増）を理由に挙げた人が5ポイント以上多くなっています。

1-4 日頃の生活での悩みや不安の有無

(1) 経年比較

図表 日頃の生活での悩みや不安の有無（経年比較／県全体、地域別）

		悩みや不安を感じている	悩みや不安を感じていない
県全体	H21	78.8%	15.8%
	H22	80.1%	16.4%
	H23	79.1%	20.4%
	H24	79.3%	17.2%
	H25	75.8%	18.5%
地域1(北部)	H21	78.2%	16.4%
	H22	78.4%	17.7%
	H23	79.6%	19.8%
	H24	79.5%	16.8%
地域2(西部)	H21	80.6%	15.7%
	H22	86.4%	11.4%
	H23	80.2%	19.8%
	H24	79.1%	19.0%
地域3(中部)	H21	78.5%	15.4%
	H22	80.1%	16.6%
	H23	78.6%	20.8%
	H24	78.8%	17.8%
	H25	76.7%	17.0%
地域4(東部)	H21	80.2%	13.3%
	H22	81.9%	14.8%
	H23	83.6%	15.9%
	H24	80.5%	15.8%
	H25	80.4%	15.5%
地域5(南東部)	H21	78.0%	15.2%
	H22	80.7%	14.9%
	H23	71.6%	27.9%
	H24	80.5%	15.3%
	H25	72.5%	18.5%
地域6(南西部)	H21	80.6%	15.1%
	H22	79.8%	15.7%
	H23	77.0%	22.0%
	H24	75.6%	21.8%
	H25	70.4%	22.4%



(注) 母数については4～9ページの「5 回答者の状況」参照。

■ 県全体

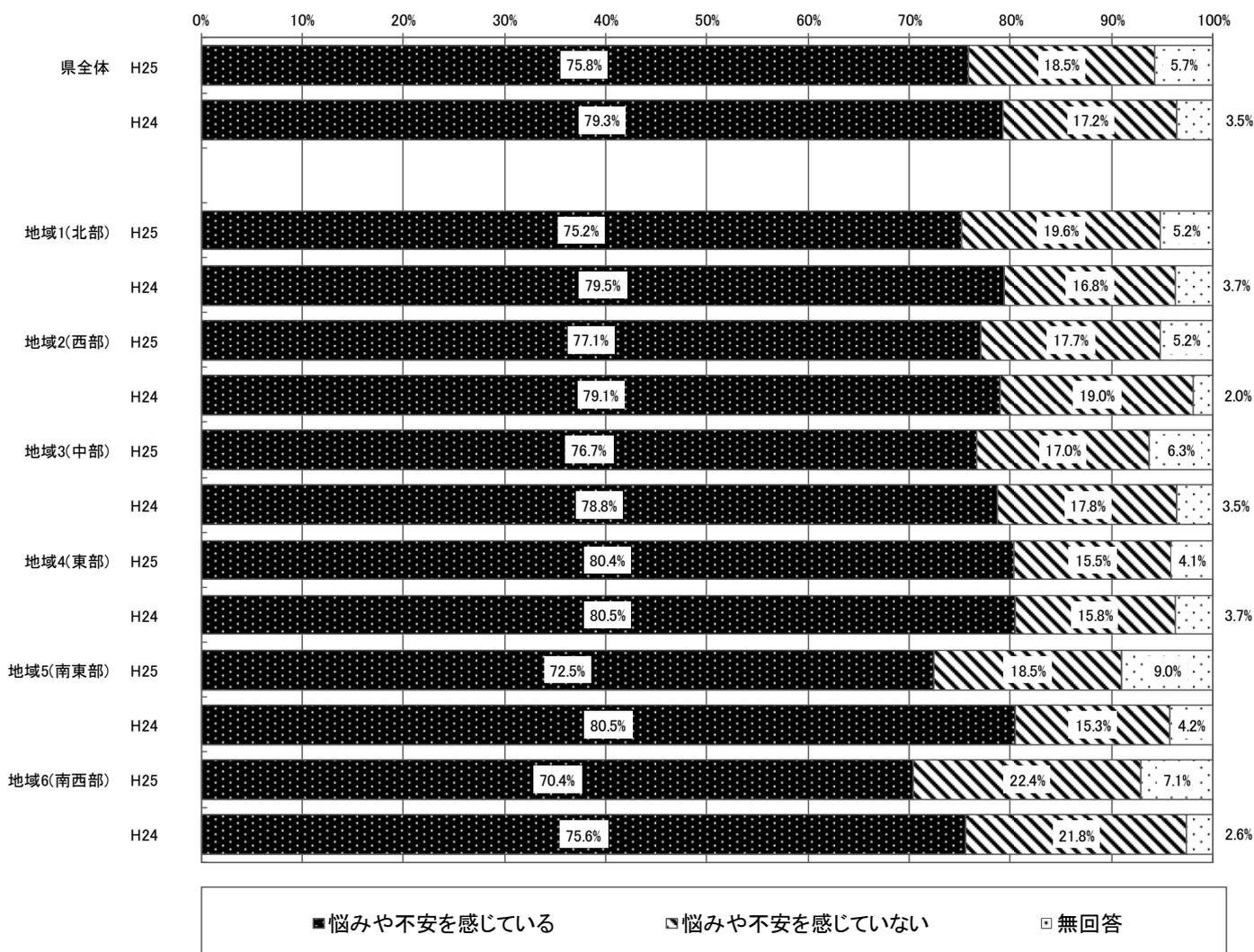
「悩みや不安を感じている」と答えた人は平成22年度から減少傾向にあります。

■ 地域別

「悩みや不安を感じている」と答えた人は、「地域2(西部)」と「地域6(南西部)」で平成22年度以降、減少傾向にあります。

(2) 今年度調査結果

図表 日頃の生活での悩みや不安の有無（経年比較／県全体、地域別）



(注) 母数については4～9ページの「5 回答者の状況」参照。

■ 県全体

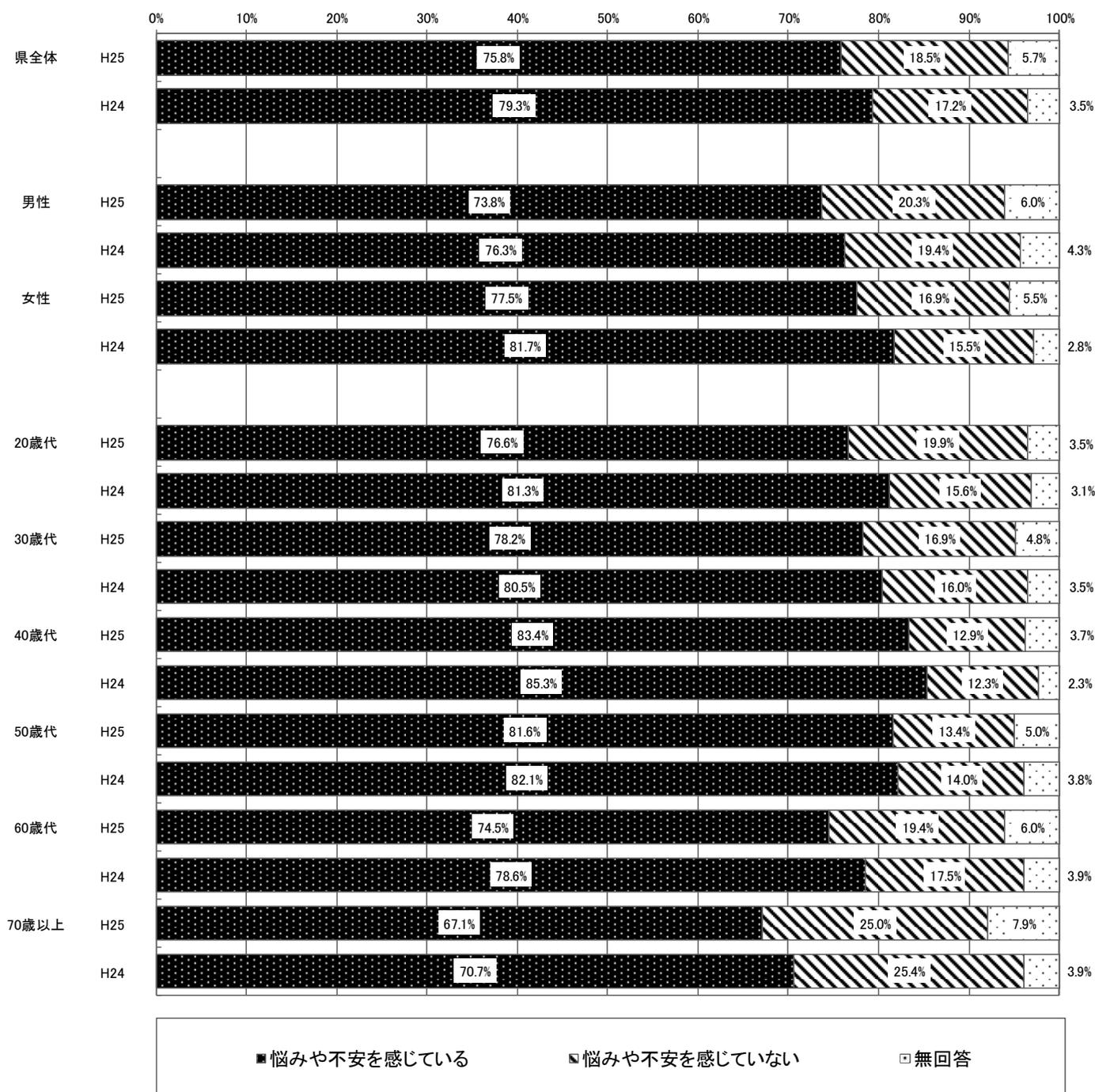
「悩みや不安を感じている」と答えた人は75.8%で、平成24年度と比べ3.5ポイント減少しています。

■ 地域別

「悩みや不安を感じている」と答えた人は、「地域4（東部）」（80.4%）で他の地域と比べ多く、また平成24年度から高い値を維持しています。

いずれの地域においても平成24年度から減少しています。

図表 日頃の生活での悩みや不安の有無（経年比較／県全体、性別、年齢別）



(注) 母数については4～9ページの「5 回答者の状況」参照。

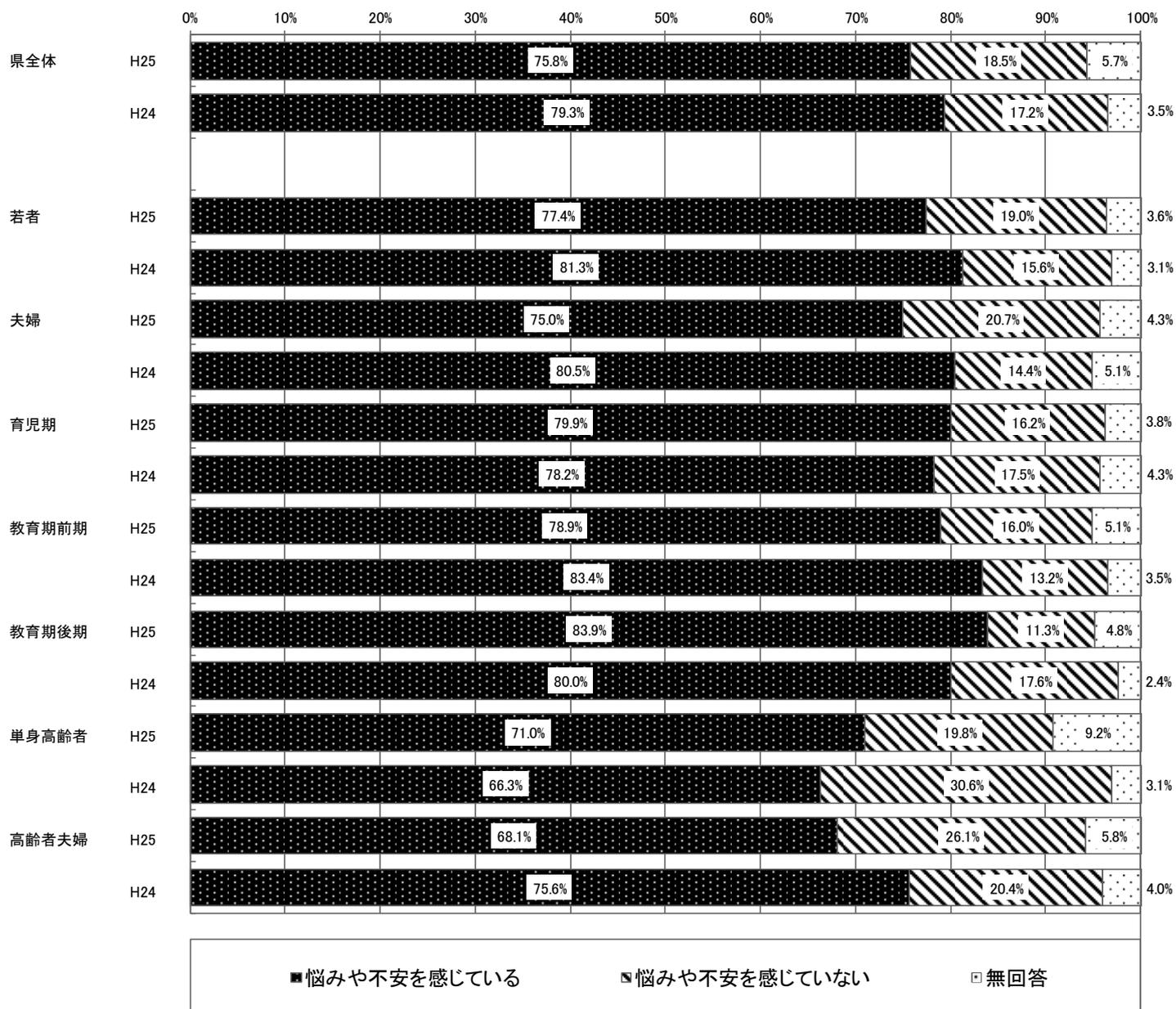
■性別

「悩みや不安を感じている」と答えた人は「女性」（77.5%）が、「男性」（73.8%）と比べ多くなっています。平成24年度と比較すると、男女ともに「悩みや不安を感じている」と答えた人が減少しています。

■年齢別

「悩みや不安を感じている」と答えた人は、「40歳代（83.4%）」で他の年齢層と比べ多くなっています。平成24年度と比較すると、いずれの年齢層においても減少しています。

図表 日頃の生活での悩みや不安の有無（経年比較／県全体、ライフステージ別）

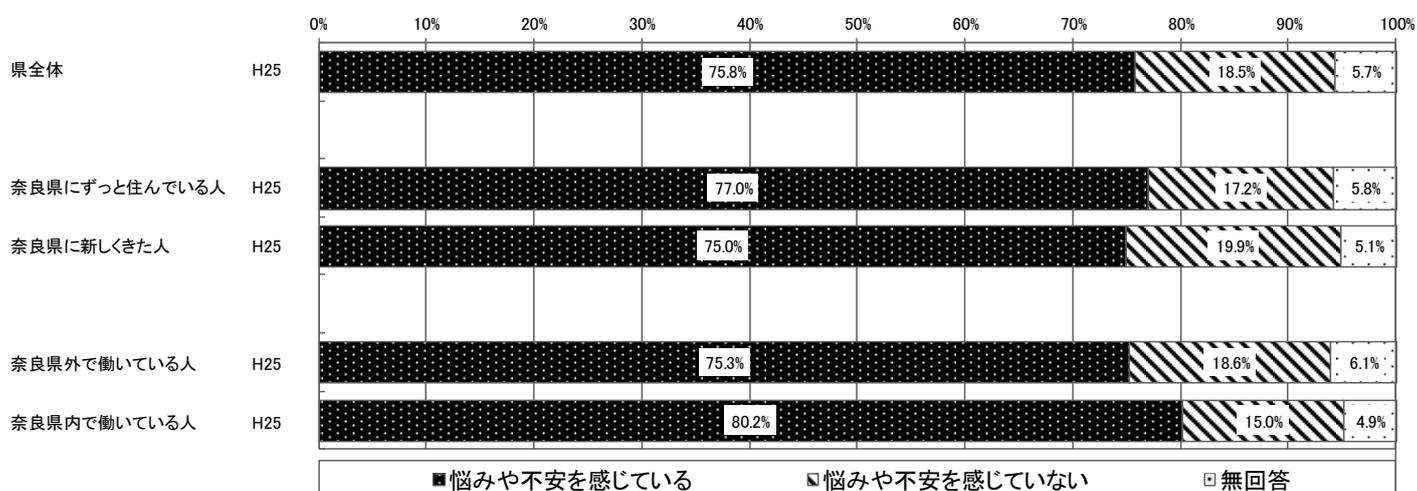


(注) 母数については4～9ページの「5 回答者の状況」参照。

■ ライフステージ別

「悩みや不安を感じている」と答えた人は、「教育期後期（83.9%）」で他の年齢層と比べ多くなっています。平成24年度と比較すると、「育児期（1.7ポイント増）」「教育期後期（3.9ポイント増）」「単身高齢者（4.7ポイント増）」において増加しています。

図表 日頃の生活での悩みや不安の有無（県全体、旧住民・新住民、奈良での就労別）



（注）母数については4～9ページの「5 回答者の状況」参照。

■旧住民・新住民別

「悩みや不安を感じている」と答えた人は「奈良県にずっと住んでいる人」（77.0%）が、「奈良県に新しくきた人」（75.0%）と比べ多くなっています。

■奈良での就労別

「悩みや不安を感じている」と答えた人は「奈良県内で働いている人」（80.2%）が、「奈良県外で働いている人」（75.3%）と比べ多くなっています。

1-5 日頃の生活での悩みや不安の内容

図表 日頃の生活での悩みや不安の内容

(複数回答／県全体、地域別、性別、年齢別、ライフステージ別、旧住民・新住民別、奈良での就労別)

(上段：平成25年度結果、下段：前年度からの増減)

		老後の生活設計について	自分の健康について	家族の健康について	今後の収入や資産の見通しについて	現在の収入や資産について	家族の生活上(進学、就職、結婚など)の問題について	家族・親族間の人間関係について	勤務先での仕事や人間関係について	婚などの生活上(進学、就職、結婚)の問題について	自分の生活上(進学、就職、結婚)の問題について	近隣・地域との関係について	事業や家業の経営上の問題について	その他	無回答
県全体		61.0% 6.4	60.1% 4.7	53.7% 5.9	50.2% 0.6	40.5% 4.1	24.4% ▲ 5.2	12.0% ▲ 0.8	10.5% ▲ 1.8	9.8% ▲ 1.8	8.2% ▲ 0.3	7.3% ▲ 2.4	2.7% ▲ 0.7	1.0% ▲ 0.2	
地域別	地域1(北部)	<u>60.1%</u> 4.6	<u>59.7%</u> 5.5	<u>51.6%</u> 4.5	51.2% ▲ 0.0	40.1% 2.8	25.4% ▲ 1.6	11.6% ▲ 1.8	10.7% ▲ 1.7	10.9% ▲ 1.3	7.6% ▲ 1.1	6.8% ▲ 1.9	2.3% ▲ 0.6	0.7% ▲ 0.5	
	地域2(西部)	<u>62.0%</u> 10.5	<u>59.9%</u> 4.4	<u>55.2%</u> 4.7	46.4% 2.9	41.7% 11.7	18.8% ▲ 16.2	13.5% ▲ 5.0	8.3% ▲ 3.2	6.3% ▲ 5.2	6.8% ▲ 4.7	8.3% 4.8	6.8% 3.3	1.0% 0.5	
	地域3(中部)	<u>60.3%</u> 7.4	<u>58.9%</u> 5.1	<u>57.8%</u> 6.5	51.2% 2.4	41.7% 4.8	26.1% ▲ 9.1	12.4% ▲ 0.7	10.8% ▲ 2.9	10.8% ▲ 0.7	6.9% 1.7	6.9% ▲ 2.7	2.7% 0.8	0.7% ▲ 0.6	
	地域4(東部)	<u>62.8%</u> 3.3	<u>57.7%</u> ▲ 5.9	<u>53.8%</u> 8.1	52.6% ▲ 2.3	40.4% 0.5	21.2% ▲ 6.5	9.0% ▲ 2.0	12.8% ▲ 0.5	7.7% ▲ 2.1	7.7% ▲ 2.7	4.5% ▲ 10.5	1.3% ▲ 6.8	2.6% 2.0	
	地域5(南東部)	<u>62.8%</u> 9.6	<u>71.3%</u> 10.9	<u>55.0%</u> 10.2	45.0% 0.8	38.0% 4.9	22.5% ▲ 0.2	17.1% 12.6	10.9% 5.1	7.8% ▲ 2.6	18.6% 10.2	9.3% ▲ 3.0	2.3% ▲ 2.9	1.6% ▲ 1.6	
	地域6(南西部)	<u>69.6%</u> 15.4	<u>62.3%</u> 9.8	<u>43.5%</u> 9.6	<u>43.5%</u> ▲ 5.7	37.7% 3.8	21.7% ▲ 8.8	8.7% 1.9	5.8% ▲ 9.5	5.8% ▲ 4.4	13.0% ▲ 3.9	15.9% ▲ 9.5	1.4% ▲ 3.7	1.4% 1.4	
性別	男性	<u>60.8%</u> 6.7	<u>60.3%</u> 3.1	51.1% 6.0	<u>53.6%</u> 1.8	44.4% 5.3	20.7% ▲ 4.8	9.4% 0.6	12.3% ▲ 2.0	10.3% ▲ 1.7	6.8% ▲ 1.2	9.1% ▲ 2.6	2.3% ▲ 1.1	1.0% ▲ 0.2	
	女性	<u>61.1%</u> 6.1	<u>59.9%</u> 5.8	<u>55.9%</u> 6.0	47.4% ▲ 0.7	37.2% 2.8	27.5% ▲ 5.1	14.2% ▲ 1.5	9.0% ▲ 1.8	9.5% ▲ 1.8	9.3% 0.5	5.7% ▲ 2.5	3.1% ▲ 0.2	0.9% ▲ 0.3	
年齢別	20歳代	25.9% 9.2	33.3% 5.1	33.3% 3.8	<u>56.5%</u> 5.2	<u>50.0%</u> 11.5	14.8% 2.0	7.4% ▲ 6.7	25.0% ▲ 1.9	<u>50.9%</u> ▲ 15.1	10.2% 5.7	5.6% ▲ 0.8	2.8% 0.2	0.0% ▲ 0.6	
	30歳代	44.4% ▲ 2.1	34.3% 2.1	<u>45.1%</u> 8.2	<u>66.1%</u> 1.3	<u>53.1%</u> 4.9	20.6% ▲ 4.3	11.6% ▲ 0.7	19.5% ▲ 2.4	27.1% ▲ 0.8	12.3% 1.3	8.3% 1.3	1.4% ▲ 0.9	0.7% ▲ 0.3	
	40歳代	<u>57.3%</u> 8.0	40.2% ▲ 3.1	44.4% 3.6	<u>63.9%</u> 5.4	<u>47.9%</u> 7.9	42.7% ▲ 2.6	12.4% ▲ 1.8	16.8% ▲ 3.8	12.9% 2.9	6.6% ▲ 2.4	8.5% 0.0	2.5% ▲ 1.2	1.4% 0.4	
	50歳代	<u>70.4%</u> 2.6	<u>59.6%</u> 2.6	53.2% 3.7	<u>56.3%</u> ▲ 0.1	42.4% 6.3	32.9% ▲ 9.6	10.3% ▲ 3.1	15.4% 0.7	4.6% 2.0	4.9% ▲ 2.8	8.5% ▲ 5.9	2.8% 0.7	1.5% ▲ 0.3	
	60歳代	<u>74.5%</u> 5.8	<u>75.1%</u> 5.2	<u>63.4%</u> 3.2	45.5% 1.5	36.6% 2.7	21.5% ▲ 7.4	13.8% 2.7	3.4% 0.8	1.2% ▲ 0.4	8.1% ▲ 0.0	8.3% ▲ 1.4	2.8% ▲ 0.4	1.0% 0.2	
	70歳代以上	<u>59.4%</u> 9.0	<u>81.6%</u> 4.7	<u>60.7%</u> 7.4	28.5% ▲ 0.4	27.4% 1.2	10.3% ▲ 1.2	12.7% 0.1	0.4% ▲ 0.1	1.3% 0.5	9.6% 0.7	3.9% ▲ 5.8	3.3% ▲ 1.9	0.4% ▲ 1.4	
	ライフステージ別	若者	25.5% 8.8	34.0% 5.8	33.0% 3.5	<u>56.8%</u> 5.3	<u>50.0%</u> 11.5	15.1% 2.3	7.5% ▲ 6.6	25.5% ▲ 1.4	<u>50.9%</u> ▲ 15.1	9.4% 4.9	5.7% ▲ 0.7	2.8% 0.2	0.0% ▲ 0.6
夫婦	<u>75.8%</u> 6.7	<u>69.1%</u> 11.0	<u>65.2%</u> 8.0	58.9% 2.1	42.5% 3.5	8.2% ▲ 8.3	13.0% 1.1	9.2% ▲ 4.4	2.9% ▲ 4.3	6.3% ▲ 1.3	7.2% ▲ 4.7	3.4% 0.9	0.5% ▲ 0.3		
育児期	42.8% ▲ 0.5	35.3% 5.4	<u>43.3%</u> 4.5	<u>67.4%</u> 2.2	<u>54.0%</u> 5.7	31.6% ▲ 1.7	9.6% ▲ 6.8	16.6% 1.2	8.0% 1.5	13.4% ▲ 1.0	6.4% ▲ 2.1	2.1% ▲ 0.9	1.1% ▲ 0.9		
教育期前期	<u>55.9%</u> 9.1	42.4% ▲ 0.8	45.3% 4.3	<u>59.7%</u> 1.3	46.8% 4.8	52.4% 1.5	12.9% ▲ 3.7	14.1% ▲ 3.2	7.4% 3.4	6.5% ▲ 2.0	7.9% ▲ 1.0	3.2% 0.3	1.2% 0.4		
教育期後期	<u>66.3%</u> 13.4	51.0% 2.5	49.0% 7.3	<u>53.8%</u> ▲ 1.5	48.1% 12.7	51.9% ▲ 13.1	14.4% ▲ 1.1	10.6% ▲ 5.4	1.0% ▲ 0.5	4.8% ▲ 3.5	11.5% ▲ 1.1	2.9% ▲ 0.0	2.9% 1.9		
単身高齢者	<u>58.1%</u> 9.6	<u>88.2%</u> 4.9	15.1% ▲ 6.1	23.7% ▲ 3.6	<u>30.1%</u> ▲ 0.2	6.5% 2.0	15.1% ▲ 0.1	4.3% 2.8	3.2% 0.2	9.7% ▲ 0.9	2.2% ▲ 3.9	6.5% 2.0	0.0% ▲ 4.5		
高齢者夫婦	<u>69.2%</u> 7.8	<u>80.7%</u> 5.8	<u>72.5%</u> 8.5	35.3% 2.0	33.9% 6.2	5.4% ▲ 1.5	9.8% 0.9	1.0% 0.7	0.3% ▲ 0.4	12.2% 3.9	4.7% ▲ 4.2	3.1% ▲ 1.2	0.7% ▲ 1.3		
新旧住民別	奈良県にずっと住んでいる人	<u>58.9%</u> -	<u>59.7%</u> -	<u>53.2%</u> -	49.6% -	42.7% -	23.6% -	12.1% -	11.9% -	11.4% -	9.8% -	8.9% -	1.8% -	0.9% -	
	奈良県に新しくきた人	<u>62.9%</u> -	<u>60.0%</u> -	<u>54.3%</u> -	51.3% -	38.2% -	25.9% -	11.8% -	9.0% -	8.3% -	6.6% -	5.2% -	3.7% -	0.8% -	
奈良での就労別	奈良県外で働いている人	<u>58.8%</u> -	45.1% -	<u>47.1%</u> -	<u>59.1%</u> -	41.9% -	24.7% -	7.5% -	20.5% -	16.9% -	4.9% -	6.8% -	3.2% -	0.6% -	
	奈良県内で働いている人	<u>60.3%</u> -	<u>52.3%</u> -	49.9% -	<u>57.1%</u> -	45.5% -	27.8% -	11.9% -	17.1% -	10.6% -	7.3% -	11.9% -	1.5% -	0.7% -	

(注) 集計結果は「県全体」の平成25年度の結果が多い項目順(「その他」を除く)に並べている。太字は「その他」を除いた平成25年度の結果の各属性区分の上位3項目を示し、下線を付した数値は最多項目を示している。また、網かけは平成24年度よりも5ポイント以上増えた項目を示している。なお、「-」は前年度未調査のため数値がないことを示している。母数は「苦しくなった」と回答した人数であり、4~9ページの「5 回答者の状況」とは異なる。

■県全体

日頃の生活で「悩みや不安を感じている」人に対して、その理由を尋ねたところ、「老後の生活設計」（61.0%）が最も多く、次いで「自分の健康」（60.1%）、「家族の健康」（53.7%）が多く挙げられています。

■地域別

「地域5（南東部）」をのぞくすべての地域で「老後の生活設計」が最も多く挙げられています。一方で、「地域5（南東部）」では「自分の健康」が最も多く挙げられています。

平成24年度と比較すると、「地域5（南東部）」で「家族・親族間の人間関係」（12.6ポイント増）が大幅に増加、「地域2（西部）」で「家族の生活上の問題」（16.2ポイント減）が大幅に減少しています。

■性別

男女ともに「老後の生活設計」を理由に挙げる人が多く60.0%を越えており、次いで「自分の健康」が挙げられています。

平成24年度と比較すると、女性では上位3項目「老後の生活設計」「自分の健康」「家族の健康」で5ポイント以上増加しています。

■年齢別

「20歳代」～「40歳代」では「今後の収入や資産の見通し」が最も多く挙げられている一方で、「50歳代」は「老後の生活設計」、「60歳代」「70歳以上」は「自分の健康」が多く挙げられており、年齢別で違いがみられます。

また、平成24年度と比較すると、それらのいずれの項目においても増加しています。

■ライフステージ別

「若者」「育児期」「教育期前期」では「今後の収入や資産の見通し」が最も多く挙げられている一方で、「夫婦」「教育期後期」は「老後の生活設計」、「単身高齢者」「高齢者夫婦」は「自分の健康」が多く挙げられており、ライフステージで違いがみられます。

また、平成24年度と比較すると、それらのいずれの項目においても増加しています。

■旧住民・新住民別

「奈良県にずっと住んでいる人」では「自分の健康」（59.7%）、「奈良県に新しくきた人」では「老後の生活設計」（62.9%）が最も多く挙げられています。

■奈良での就労別

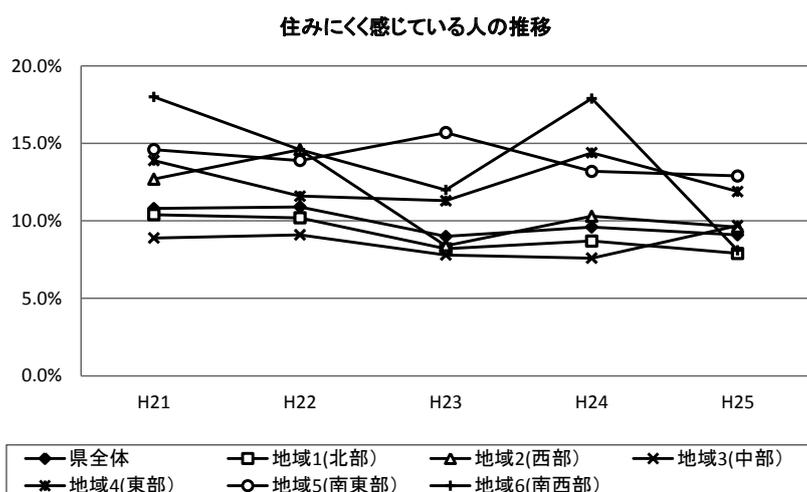
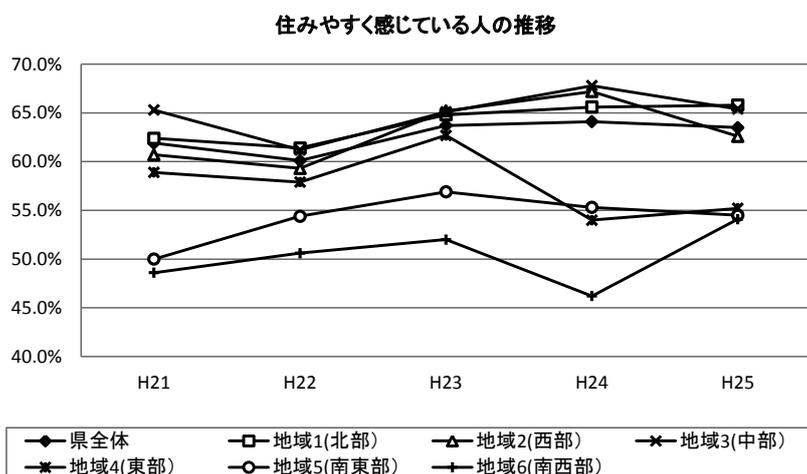
「奈良県外で働いている人」では「今後の収入や資産」（59.1%）、「奈良県内で働いている人」では「老後の生活設計」（60.3%）が最も多く挙げられています。

1-6 奈良県の住みやすさの評価

(1) 経年比較

図表 奈良県の住みやすさの評価（経年比較／県全体、地域別）

		住みやすい	住みにくい
県全体	H21	61.9%	10.8%
	H22	60.1%	10.9%
	H23	63.7%	9.0%
	H24	64.1%	9.6%
	H25	63.5%	9.1%
地域1(北部)	H21	62.4%	10.4%
	H22	61.4%	10.2%
	H23	64.8%	8.2%
	H24	65.6%	8.7%
地域2(西部)	H21	60.7%	12.7%
	H22	59.3%	14.6%
	H23	65.2%	8.4%
	H24	67.6%	10.3%
地域3(中部)	H21	65.3%	8.9%
	H22	61.2%	9.1%
	H23	65.1%	7.8%
	H24	67.8%	7.6%
地域4(東部)	H21	58.9%	13.9%
	H22	57.9%	11.6%
	H23	62.7%	11.3%
	H24	53.9%	14.4%
地域5(南東部)	H21	50.0%	14.6%
	H22	54.4%	13.9%
	H23	56.9%	15.7%
	H24	55.3%	13.2%
地域6(南西部)	H21	48.6%	18.0%
	H22	50.6%	14.6%
	H23	52.0%	12.0%
	H24	46.2%	18.0%
H25	54.1%	8.1%	



(注) 母数については4～9ページの「5 回答者の状況」参照。

■ 県全体

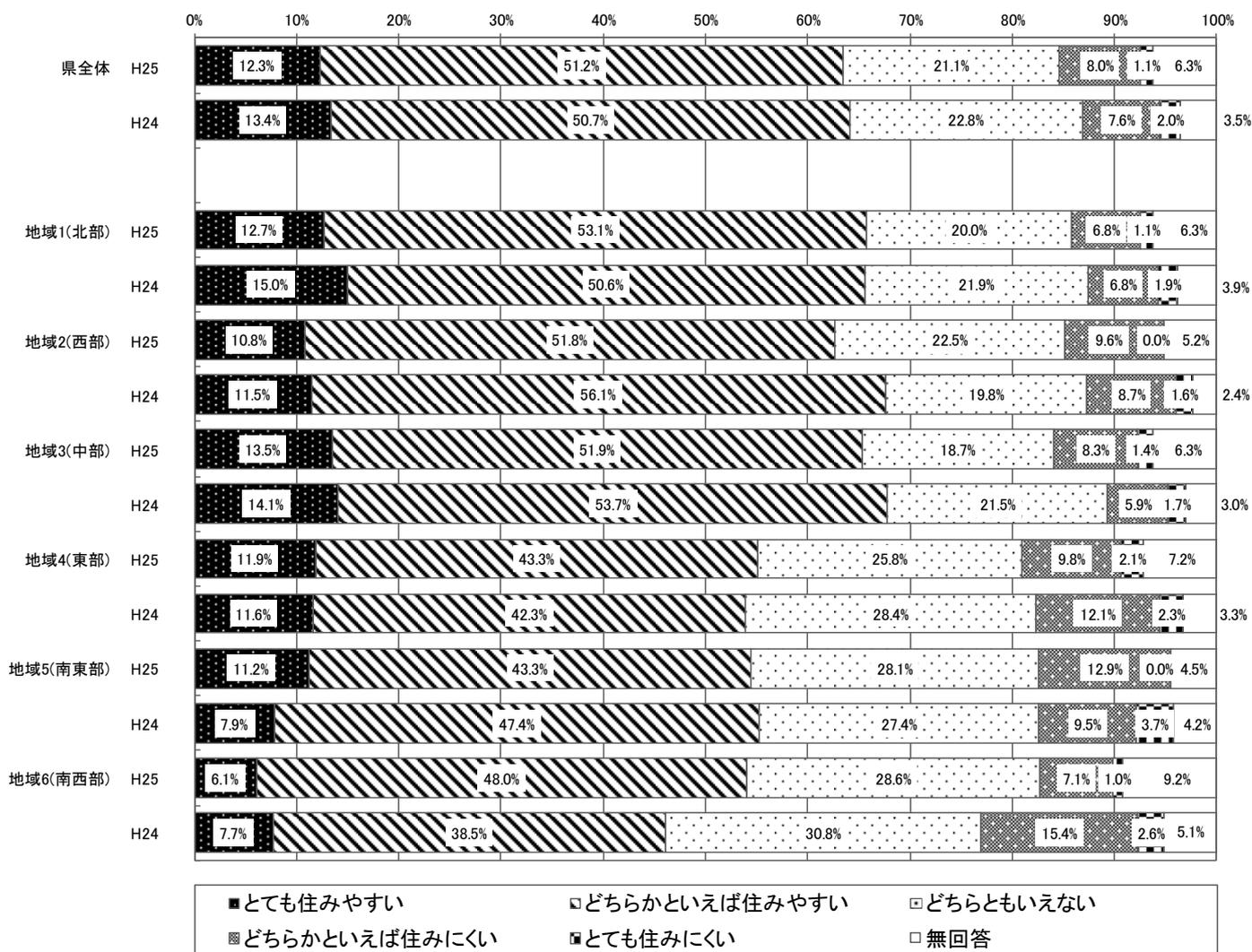
「住みやすい」と感じている人は、63.5%で平成21年度と比べると概ね増加傾向にあります。

■ 地域別

「住みやすい」と感じている人は、「地域1(北部)」で平成22年度以降、増加傾向にあります。

(2) 今年度調査結果

図表 奈良県の住みやすさの評価（経年比較／県全体、地域別）



(注) 母数については4～9ページの「5 回答者の状況」参照。

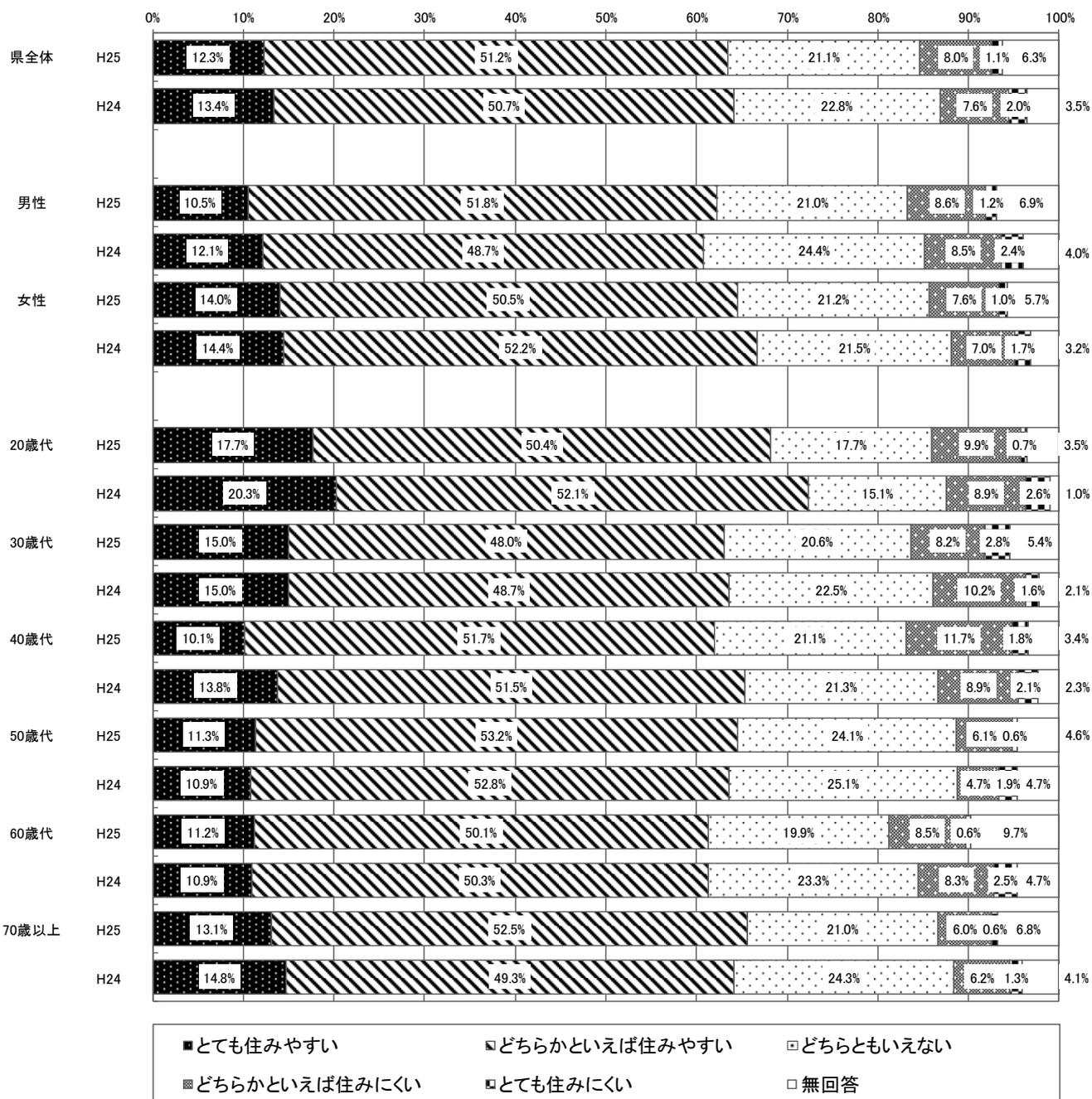
■ 県全体

奈良県での住みやすさの評価について、63.5%の人が「住みやすい」（「とても住みやすい」＋「どちらかといえば住みやすい」）と感じおり、「住みにくい（「とても住みにくい」＋「どちらかといえば住みにくい」）」と感じている人は、9.1%となっています。平成24年度と比較すると、「住みやすい」と感じている人は、0.6ポイント減少しています。

■ 地域別

「住みやすい」と感じている人が最も多いのは、「地域1（北部）」（65.8%）となっています。平成24年度と比較すると、「住みやすい」と感じている人は「地域1（北部）」（0.2ポイント増）、「地域4（東部）」（1.3ポイント増）、「地域6（南西部）」（7.9ポイント増）の地域で増加しています。

図表 奈良県の住みやすさの評価（経年比較／県全体、性別、年齢別）



(注) 母数については4～9ページの「5 回答者の状況」参照。

■性別

「住みやすい」と感じている人は、「女性」（64.5%）が「男性」（62.3%）と比べ多くなっています。

平成24年度と比較すると、「住みやすい」と感じている人は「男性」は1.5ポイント増加、「女性」は2.1ポイント減少しています。

■年齢別

「住みやすい」と感じている人が最も多いのは、「20歳代」（68.1%）となっています。

平成24年度と比較すると、「住みやすい」と感じている人は「50歳代」（0.8ポイント増）、「60歳代」（0.1ポイント増）「70歳以上」（1.5ポイント増）の年齢層で増加しています。

図表 奈良県の住みやすさの評価（経年比較／県全体、ライフステージ別）



(注) 母数については4～9ページの「5 回答者の状況」参照。

■ ライフステージ別

「住みやすい」と感じている人が最も多いのは、「教育期後期」（68.6%）となっています。平成24年度と比較すると、「住みやすい」と感じている人は「単身高齢者」（11.1ポイント減）が他の年齢層と比べ大きく減少しています。

図表 奈良県の住みやすさの評価（県全体、旧住民・新住民、奈良での就労別）



（注）母数については4～9ページの「5 回答者の状況」参照。

■旧住民・新住民別

「住みやすい」と感じている人は、「奈良県にずっと住んでいる人」（66.5%）が「奈良県に新しくきた人」（60.1%）と比べ多くなっています。

■奈良での就労別

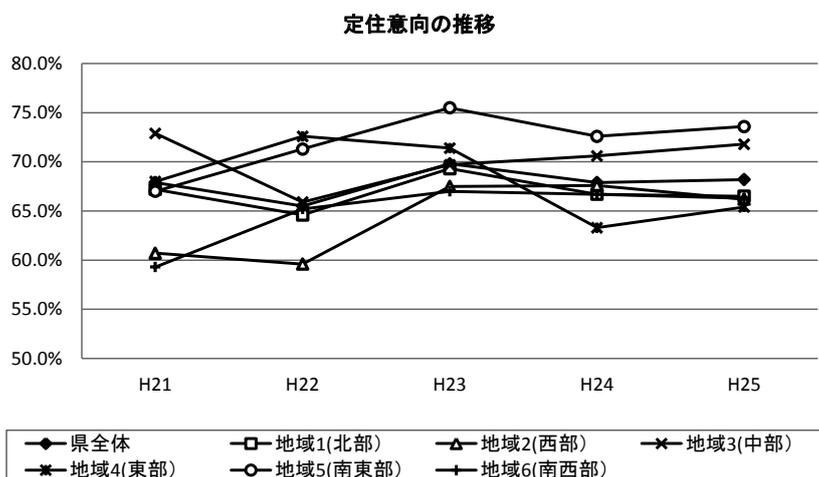
「住みやすい」と感じている人は、「奈良県内で働いている人」（64.8%）が「奈良県外で働いている人」（63.9%）と比べ多くなっています。

1-7 将来の奈良県での定住意向

(1) 経年比較

図表 将来の奈良県での定住意向（単一回答／県全体、地域別）

		住 み た い
県全体	H21	67.9%
	H22	65.5%
	H23	69.8%
	H24	67.9%
	H25	68.2%
地域1(北部)	H21	67.2%
	H22	64.6%
	H23	69.3%
	H24	66.8%
	H25	66.5%
地域2(西部)	H21	60.7%
	H22	59.6%
	H23	67.5%
	H24	67.6%
	H25	66.2%
地域3(中部)	H21	72.9%
	H22	65.9%
	H23	69.7%
	H24	70.5%
	H25	71.8%
地域4(東部)	H21	68.0%
	H22	72.6%
	H23	71.4%
	H24	63.2%
	H25	65.4%
地域5(南東部)	H21	67.0%
	H22	71.3%
	H23	75.5%
	H24	72.7%
	H25	73.6%
地域6(南西部)	H21	59.3%
	H22	65.2%
	H23	67.0%
	H24	66.6%
	H25	66.3%



(注) 上記図表は、問7を「住みたい」（「ずっと住みたい」＋「一度は県外へ出ても、奈良県に戻って住みたい」）に再集計した結果である。母数については4～9ページの「5 回答者の状況」参照。

■ 県全体

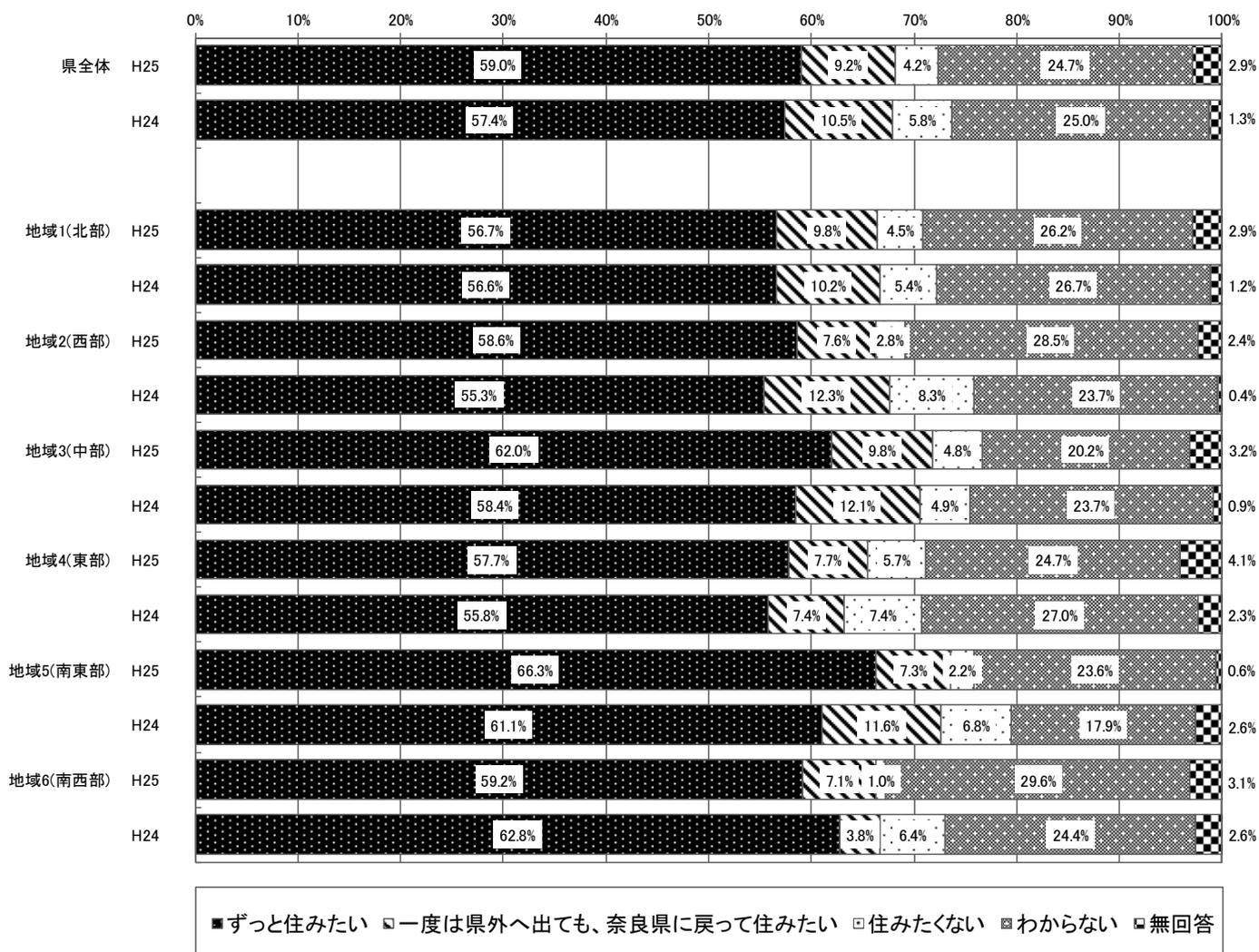
奈良県に「住みたい」と考えている人は、68.2%で平成23年度以降、高い値を維持しています。

■ 地域別

「住みやすい」と感じている人は、「地域3（中部）」が平成22年度以降、増加傾向になっています。

(2) 今年度調査結果

図表 将来の奈良県での定住意向（経年比較／県全体、地域別）



(注) 母数については4～9ページの「5 回答者の状況」参照。

■ 県全体

将来の奈良県での定住意向について、59.0%の人が「ずっと住みたい」と考えています。「一度は県外へ出ても、奈良県に戻って住みたい」と考えている人を合わせると、68.2%の人が「住みたい」（「ずっと住みたい」＋「一度は県外へ出ても、奈良県に戻って住みたい」）と考えています。一方で、「わからない」と答えた人が24.7%います。

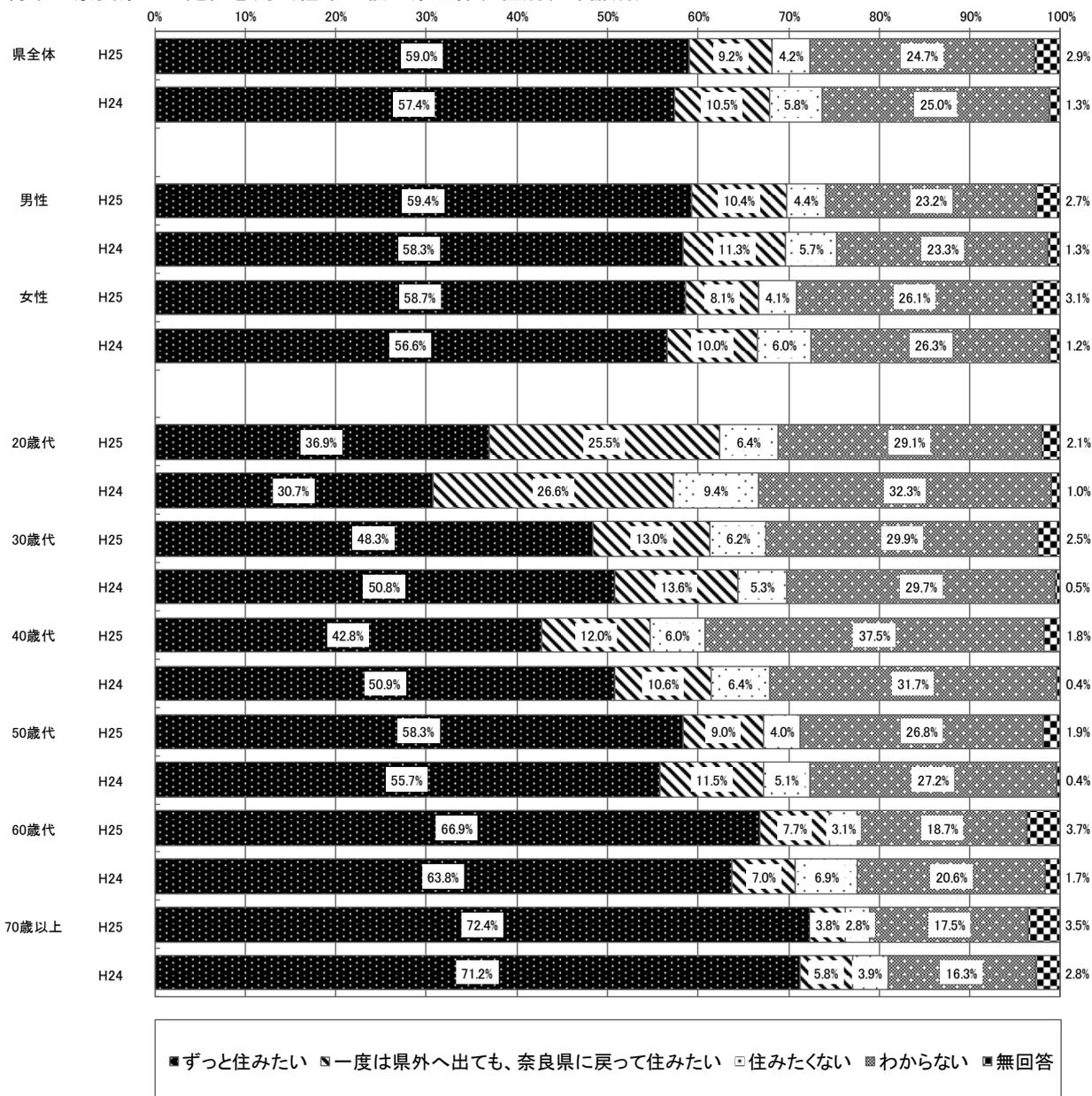
平成24年度と比較すると、「ずっと住みたい」と考えている人は1.6ポイント増加、「一度は県外へ出ても、奈良県に戻って住みたい」と考えている人は1.3ポイント減少しており、「住みたい」は0.3ポイント増加しています。

■ 地域別

「ずっと住みやすい」と考えている人が最も多いのは「地域5（南東部）」（66.3%）で「一度は県外へ出ても、奈良県に戻って住みたい」と合わせても73.6%と多くなっています。

平成24年度と比較すると、「住みたい」と考えている人は「地域3（中部）」（1.3ポイント増）、「地域4（東部）」（2.2ポイント増）、「地域5（南東部）」（0.9ポイント増）の地域で増加しています。

図表 将来の奈良県での定住意向（経年比較／県全体、性別、年齢別）



（注）母数については4～9ページの「5 回答者の状況」参照。

■性別

奈良県に「住みたい」と考えている人は、「男性」（69.8%）が「女性」（66.8%）と比べ多くなっています。

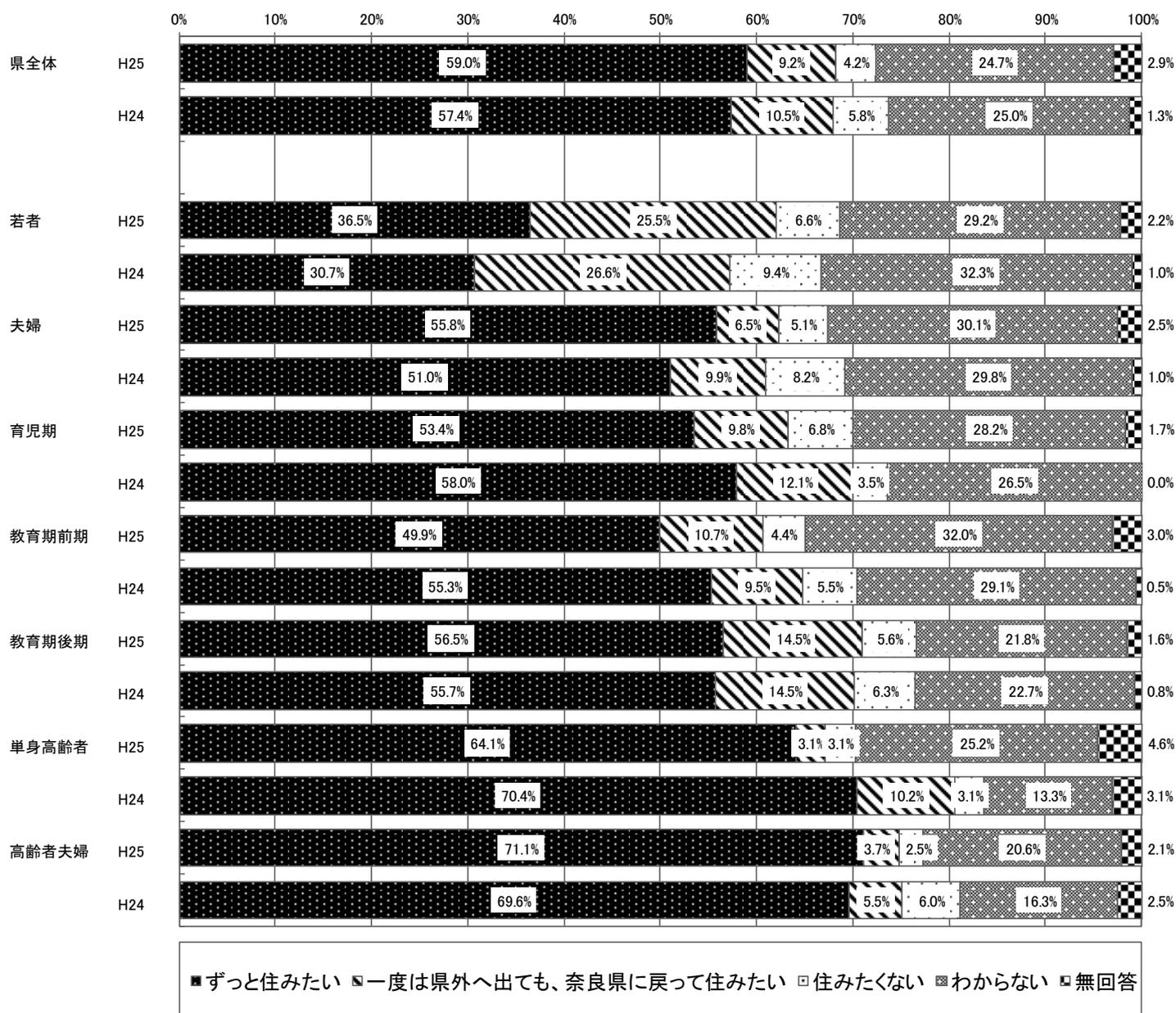
平成24年度と比較すると、男女ともに「住みたい」と考えている人が0.2ポイント増加しています。

■年齢別

「ずっと住みたい」と考えている人が最も多いのは「70歳以上」（72.4%）で、40歳代以上では年齢層が高いほど多くなっています。「一度は県外へ出ても、奈良県に戻って住みたい」と考えている人が最も多いのは「20歳代」（25.5%）で、年齢層が低いほど多くなっています。

平成24年度と比較すると、「住みたい」と考えている人は「20歳代」（5.1ポイント増）、「50歳代」（0.1ポイント増）、「60歳代」（3.8ポイント増）の年齢層で増加しています。

図表 将来の奈良県での定住意向（経年比較／県全体、ライフステージ別）



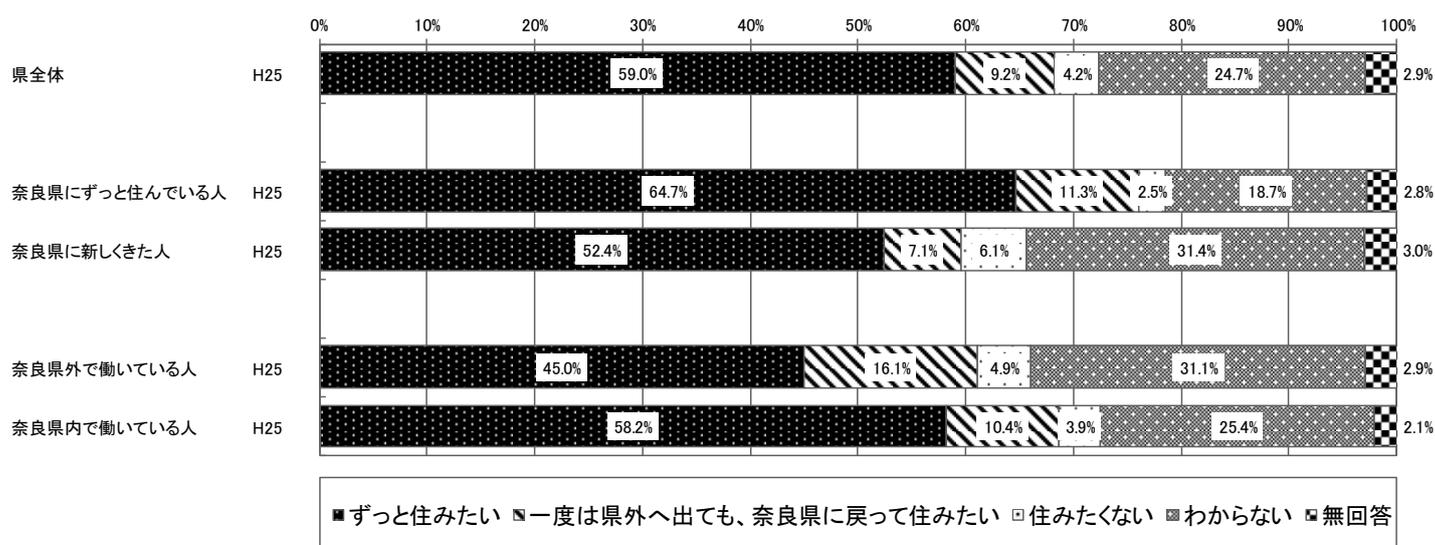
(注) 母数については4～9ページの「5 回答者の状況」参照。

■ ライフステージ別

「ずっと住みたい」と考えている人が最も多いのは「高齢者夫婦」（71.1%）、最も少ないのは「若者」（36.5%）になっています。一方で、「一度は県外へ出て、奈良県に戻って住みたい」と考えている人が最も多いのは「若者」（25.5%）となっています。

平成24年度と比較すると、「住みたい」と考えている人は「単身高齢者」（13.4ポイント減）が他のライフステージと比べて大きく減少しています。

図表 将来の奈良県での定住意向（県全体、旧住民・新住民、奈良での就労別）



(注) 母数については4～9ページの「5 回答者の状況」参照。

■旧住民・新住民別

奈良県に「ずっと住みたい」と考えている人は、「奈良県にずっと住んでいる人」(64.7%)が「奈良県に新しくきた人」(52.4%)と比べ多くなっています。また、「住みたい」と考えている人でも「奈良県にずっと住んでいる人」(76.0%)が「奈良県に新しくきた人」(59.5%)と比べ多くなっています。

■奈良での就労別

奈良県に「ずっと住みたい」と考えている人は、「奈良県内で働いている人」(58.2%)が「奈良県外で働いている人」(45.0%)と比べ多くなっています。

一方で、「一度は県外へ出ても、奈良県に戻って住みたい」と考えている人では「奈良県外で働いている人」(16.1%)が「奈良県内で働いている人」(10.4%)と比べ多くなっています。

1-8 将来的に奈良県に定住したくない理由

図表 将来的に奈良県に定住したくない理由
(複数回答／県全体、地域別、性別、年齢別、ライフステージ別、旧住民・新住民別、奈良での就労別)

(上段：平成25年度結果、下段：前年度からの増減)

		医療が充実していないから	買い物など日常生活環境が整っていないから	福祉サービスが充実していないから	通勤・通学に不便だから	奈良県や身近な地域に愛着を感じないから	身近に文化やスポーツに親しめる場が少ないから	災害を防ぐための対策が不十分だから	教育環境が充実していないから	治安を守るための対策が不十分だから	家賃など住居費が高いから	騒音が振動・大気汚染など周辺環境がよくないから	緑などの自然環境がよくないから	その他	無回答
県全体		40.6% ▲ 0.6	38.4% ▲ 0.3	32.4% ▲ 6.6	32.3% ▲ 1.1	22.1% ▲ 1.6	19.7% ▲ 3.1	14.8% ▲ 2.1	12.6% ▲ 0.9	11.0% ▲ 0.5	7.2% ▲ 1.3	5.7% ▲ 0.4	2.5% ▲ 0.1	25.1% ▲ 4.2	2.7% ▲ 0.9
地域別	地域1(北部)	38.0% ▲ 1.0	32.8% ▲ 4.0	32.6% ▲ 6.6	27.0% ▲ 0.7	22.6% ▲ 2.4	20.4% ▲ 2.0	12.9% ▲ 1.6	11.2% ▲ 2.1	10.0% ▲ 1.3	7.1% ▲ 4.0	4.4% ▲ 0.7	1.9% ▲ 0.5	29.2% ▲ 4.6	2.7% ▲ 0.7
	地域2(西部)	41.0% ▲ 5.9	38.5% ▲ 8.4	32.1% ▲ 3.7	29.5% ▲ 6.3	26.9% ▲ 4.7	19.2% ▲ 4.4	6.4% ▲ 8.4	14.1% ▲ 1.8	16.7% ▲ 5.6	3.8% ▲ 0.1	9.0% ▲ 6.5	2.6% ▲ 0.1	29.5% ▲ 8.5	6.4% ▲ 5.2
	地域3(中部)	36.5% ▲ 5.3	37.8% ▲ 6.9	30.9% ▲ 6.0	34.3% ▲ 2.6	27.5% ▲ 6.3	18.5% ▲ 3.7	16.9% ▲ 3.7	13.5% ▲ 0.8	16.9% ▲ 0.5	9.0% ▲ 1.1	7.3% ▲ 0.1	5.6% ▲ 1.4	21.9% ▲ 2.3	1.1% ▲ 1.5
	地域4(東部)	45.8% ▲ 3.6	49.2% ▲ 5.0	40.7% ▲ 9.5	42.4% ▲ 6.0	13.6% ▲ 11.1	27.1% ▲ 4.1	15.3% ▲ 13.3	15.3% ▲ 1.0	3.4% ▲ 4.4	6.8% ▲ 0.3	5.1% ▲ 0.1	0.0% ▲ 1.3	13.6% ▲ 2.0	3.4% ▲ 1.8
	地域5(南東部)	65.2% ▲ 17.3	65.2% ▲ 11.0	26.1% ▲ 5.3	52.2% ▲ 14.7	8.7% ▲ 8.0	8.7% ▲ 20.5	34.8% ▲ 5.6	15.2% ▲ 2.7	2.2% ▲ 4.1	10.9% ▲ 6.7	4.3% ▲ 2.2	0.0% ▲ 2.1	15.2% ▲ 11.0	2.2% ▲ 8.2
	地域6(南西部)	53.3% ▲ 5.0	60.0% ▲ 18.3	33.3% ▲ 20.8	50.0% ▲ 8.3	6.7% ▲ 1.6	20.0% ▲ 0.8	20.0% ▲ 13.3	13.3% ▲ 3.4	3.3% ▲ 3.3	3.3% ▲ 1.7	10.0% ▲ 0.4	0.0% ▲ 1.3	13.3% ▲ 3.4	3.3% ▲ 0.9
性別	男性	40.6% ▲ 0.6	35.0% ▲ 1.9	35.3% ▲ 5.6	31.4% ▲ 0.9	24.7% ▲ 2.5	20.0% ▲ 3.3	18.1% ▲ 0.2	12.5% ▲ 3.4	13.1% ▲ 0.4	5.8% ▲ 5.2	7.5% ▲ 0.3	3.3% ▲ 1.3	26.7% ▲ 8.0	1.1% ▲ 1.5
	女性	40.7% ▲ 1.3	41.2% ▲ 2.0	30.1% ▲ 7.0	33.0% ▲ 2.5	19.9% ▲ 0.5	19.5% ▲ 3.0	12.2% ▲ 4.1	12.7% ▲ 0.7	9.3% ▲ 0.8	8.4% ▲ 1.6	4.3% ▲ 0.4	1.8% ▲ 1.3	23.8% ▲ 1.5	4.1% ▲ 0.0
年齢別	20歳代	26.0% ▲ 0.1	38.0% ▲ 4.0	18.0% ▲ 13.1	42.0% ▲ 7.4	34.0% ▲ 16.7	28.0% ▲ 10.7	10.0% ▲ 0.1	10.0% ▲ 5.1	2.0% ▲ 7.9	6.0% ▲ 3.5	2.0% ▲ 0.5	0.0% ▲ 2.5	28.0% ▲ 5.8	2.0% ▲ 1.7
	30歳代	32.8% ▲ 5.4	30.5% ▲ 1.6	28.1% ▲ 10.5	35.9% ▲ 3.0	20.3% ▲ 0.3	14.8% ▲ 10.4	7.8% ▲ 1.4	22.7% ▲ 4.0	14.1% ▲ 1.9	10.9% ▲ 1.0	6.3% ▲ 1.3	2.3% ▲ 1.5	30.5% ▲ 0.0	1.6% ▲ 0.1
	40歳代	41.3% ▲ 2.8	29.1% ▲ 1.2	21.2% ▲ 2.8	38.8% ▲ 4.0	27.0% ▲ 3.0	15.3% ▲ 3.7	12.2% ▲ 3.4	19.6% ▲ 1.7	8.5% ▲ 1.6	5.3% ▲ 5.3	3.7% ▲ 0.2	2.1% ▲ 1.8	30.2% ▲ 3.4	1.6% ▲ 1.0
	50歳代	44.9% ▲ 7.0	38.7% ▲ 5.1	35.4% ▲ 2.7	32.7% ▲ 2.0	23.1% ▲ 0.4	15.6% ▲ 7.9	12.9% ▲ 3.4	8.8% ▲ 7.5	11.6% ▲ 2.4	8.8% ▲ 1.7	4.1% ▲ 0.2	1.4% ▲ 0.6	24.5% ▲ 5.5	1.4% ▲ 5.1
	60歳代	47.3% ▲ 1.5	45.9% ▲ 2.4	42.6% ▲ 10.4	31.1% ▲ 7.9	20.9% ▲ 1.7	26.4% ▲ 1.8	20.3% ▲ 3.4	6.1% ▲ 0.5	12.2% ▲ 0.8	5.4% ▲ 0.8	7.4% ▲ 0.1	4.7% ▲ 0.7	22.3% ▲ 8.7	5.4% ▲ 2.0
	70歳代以上	40.6% ▲ 0.1	52.9% ▲ 7.9	43.5% ▲ 10.2	17.4% ▲ 0.3	13.0% ▲ 2.3	24.6% ▲ 3.9	23.2% ▲ 0.2	5.8% ▲ 0.5	13.0% ▲ 2.3	7.2% ▲ 1.8	9.4% ▲ 4.0	2.9% ▲ 1.1	15.2% ▲ 1.7	4.3% ▲ 2.0
ライフステージ別	若者	26.5% ▲ 0.6	38.8% ▲ 3.2	18.4% ▲ 13.5	42.9% ▲ 6.5	34.7% ▲ 17.4	28.6% ▲ 11.3	10.2% ▲ 0.3	10.2% ▲ 5.3	2.0% ▲ 7.9	6.1% ▲ 3.6	2.0% ▲ 0.5	0.0% ▲ 2.5	26.5% ▲ 4.3	2.0% ▲ 1.7
	夫婦	44.3% ▲ 0.7	39.2% ▲ 2.2	35.1% ▲ 5.4	35.1% ▲ 8.1	20.6% ▲ 0.8	20.6% ▲ 1.0	18.6% ▲ 0.3	9.3% ▲ 3.9	9.3% ▲ 0.6	10.3% ▲ 1.3	4.1% ▲ 1.3	3.1% ▲ 3.1	25.8% ▲ 0.6	4.1% ▲ 0.5
	育児期	39.0% ▲ 7.8	30.5% ▲ 3.2	28.0% ▲ 9.8	28.0% ▲ 12.3	23.2% ▲ 8.9	14.6% ▲ 6.2	3.7% ▲ 6.7	29.3% ▲ 4.5	12.2% ▲ 0.5	8.5% ▲ 0.6	2.4% ▲ 1.5	3.7% ▲ 0.2	37.8% ▲ 11.8	1.2% ▲ 4.0
	教育期前期	38.9% ▲ 3.9	31.2% ▲ 7.8	24.2% ▲ 0.8	39.5% ▲ 2.2	23.6% ▲ 0.8	15.9% ▲ 6.5	8.9% ▲ 6.5	24.8% ▲ 1.6	11.5% ▲ 0.1	8.9% ▲ 2.0	5.1% ▲ 1.4	2.5% ▲ 0.0	28.7% ▲ 3.8	1.3% ▲ 0.3
	教育期後期	47.1% ▲ 9.8	32.4% ▲ 10.3	38.2% ▲ 18.2	50.0% ▲ 10.0	20.6% ▲ 4.7	17.6% ▲ 6.4	5.9% ▲ 11.4	14.7% ▲ 12.0	11.8% ▲ 5.1	8.8% ▲ 2.1	8.8% ▲ 4.8	0.0% ▲ 2.7	20.6% ▲ 0.6	2.9% ▲ 2.4
	単身高齢者	43.2% ▲ 7.9	54.1% ▲ 1.2	54.1% ▲ 7.0	5.4% ▲ 0.5	10.8% ▲ 4.9	32.4% ▲ 2.9	29.7% ▲ 12.1	5.4% ▲ 0.5	8.1% ▲ 2.2	8.1% ▲ 3.7	8.1% ▲ 2.2	0.0% ▲ 0.0	16.2% ▲ 4.4	5.4% ▲ 6.4
	高齢者夫婦	41.0% ▲ 1.4	50.0% ▲ 9.3	42.0% ▲ 13.4	26.0% ▲ 12.8	20.0% ▲ 6.8	28.0% ▲ 8.2	20.0% ▲ 0.9	8.0% ▲ 3.6	10.0% ▲ 7.6	5.0% ▲ 0.5	8.0% ▲ 2.5	4.0% ▲ 0.7	19.0% ▲ 0.8	2.0% ▲ 4.6
	新旧住民別	奈良県にずっと住んでいる人	42.3% ▲ -	41.3% ▲ -	35.5% ▲ -	40.6% ▲ -	17.1% ▲ -	20.1% ▲ -	18.1% ▲ -	15.7% ▲ -	11.3% ▲ -	6.8% ▲ -	9.2% ▲ -	3.1% ▲ -	19.5% ▲ -
奈良県に新しくきた人		39.1% ▲ -	36.1% ▲ -	31.0% ▲ -	27.4% ▲ -	25.2% ▲ -	19.1% ▲ -	11.8% ▲ -	11.2% ▲ -	11.0% ▲ -	7.5% ▲ -	3.7% ▲ -	2.0% ▲ -	28.6% ▲ -	3.0% ▲ -
奈良での就労別	奈良県外で働いている人	38.8% ▲ -	23.1% ▲ -	27.2% ▲ -	38.8% ▲ -	25.9% ▲ -	19.0% ▲ -	11.6% ▲ -	12.9% ▲ -	11.6% ▲ -	4.1% ▲ -	4.1% ▲ -	1.4% ▲ -	29.9% ▲ -	0.7% ▲ -
	奈良県内で働いている人	40.1% ▲ -	35.2% ▲ -	29.6% ▲ -	34.9% ▲ -	21.5% ▲ -	17.9% ▲ -	13.0% ▲ -	17.6% ▲ -	11.4% ▲ -	10.7% ▲ -	4.9% ▲ -	2.3% ▲ -	26.4% ▲ -	2.6% ▲ -

(注) 集計結果は「県全体」の平成25年度の結果が多い項目順(「その他」を除く)に並べている。太字は「その他」を除いた平成25年度の結果の各属性区分の上位3項目を示し、下線を付した数値は最多項目を示している。また、網かけは平成24年度よりも5ポイント以上増えた項目を示している。なお、「-」は前年度未調査のため数値がないことを示している。母数は「苦しくなった」と回答した人数であり、4~9ページの「5 回答者の状況」とは異なる。

1-8 将来的に奈良県に定住したくない理由

■県全体

将来的に奈良県に「住みたくない」人と「わからない」人に対して、その理由を尋ねたところ、「医療が充実していない」（40.6%）が最も多く、次いで「日常の生活環境が整っていない」（38.4%）、「福祉サービスが充実していない」（32.4%）が多く挙げられています。

平成24年度と比較すると、「福祉サービスが充実していない」が5ポイント以上増加、4位から3位へ上がっています。

■地域別

「地域1（北部）」「地域2（西部）」の地域で「医療が充実していない」が最も多く挙げられています。一方で、「地域3（中部）」「地域4（東部）」「地域6（南西部）」では「日常の生活環境が整っていない」が最も多く挙げられています。

「地域5（南東部）」では、「医療が充実していない」「日常の生活環境が整っていない」のどちらの項目も同程度多く挙げられています。

平成24年度と比較すると、「地域6（南西部）」で「福祉サービスが充実していない」（20.8ポイント増）が大幅な増加、「地域5（南東部）」で「身近に文化やスポーツに親しめる場が少ない」（20.5ポイント減）が大幅に減少しています。

■性別

「男性」では「医療が充実していない」（40.6%）が最も多く、次いで「福祉サービスが充実していない」（35.3%）「日常の生活環境が整っていない」（35.0%）が挙げられています。一方で「女性」では「日常の生活環境が整っていない」（41.2%）「医療が充実していないから」（40.7%）、「通勤・通学に不便だから」（33.0%）の順に多く挙げられています。

■年齢別

「20歳代」～「30歳代」では「通勤・通学に不便だから」、「40歳代」～「60歳代」では「医療が充実していないから」、「70歳以上」は「日常の生活環境が整っていない」が最も多く挙げられており、年齢別で違いがみられます。

■ライフステージ別

「若者」「教育期前期」「教育期後期」では「通勤・通学が不便だから」、「夫婦」「育児期」では「医療が充実していないから」、「単身高齢者」「高齢者夫婦」では「日常生活環境が整っていない」が多く挙げられており、ライフステージで違いがみられます。

■旧住民・新住民別

「奈良県にずっと住んでいる人」では「医療が充実していないから」（42.3%）、「日常生活環境が整っていない」（41.3%）、「通勤・通学に不便だから」（40.6%）の順で多く挙げられています。一方で、「奈良県に新しくきた人」では「医療が充実していないから」（39.1%）、「日常生活環境が整っていない」（36.1%）、「福祉サービスが充実していないから」（31.0%）の順で多く挙げられています。

■奈良での就労別

「奈良県外で働いている人」では「医療が充実していないから」「通勤・通学に不便だから」が38.8%で同程度で最も多く挙げられています。「奈良県内で働いている人」では「医療が充実していないから」（40.1%）が最も多く、次いで「日常生活環境が整っていないから」（35.2%）が挙げられています。

(2) 住みにくく移住したいと考えている人の理由

図表 住みにくく移住したいと考えている人の理由（設問間クロス／県全体）

順位	項目番号	問8 定住しない理由	計
1	1	買物など日常の生活環境が整っていないから	43 60.6%
2	2	通勤・通学に不便だから	34 47.9%
3	5	医療が充実していないから	34 47.9%
4	6	奈良県や身近な地域に愛着を感じないから	32 45.1%
5	11	福祉サービスが充実していないから	24 33.8%
6	7	身近に文化やスポーツに親しめる場が少ないから	14 19.7%
7	3	教育環境が充実していないから	12 16.9%
8	10	治安を守るための対策が不十分だから	11 15.5%
9	4	災害を防ぐための対策が不十分だから	10 14.1%
10	8	騒音・振動・大気汚染など周辺環境がよくないから	7 9.9%
11	9	家賃など住居費が高いから	4 5.6%
12	12	緑などの自然環境がよくないから	2 2.8%
13	13	その他	10 14.1%
14	14	無回答	3 4.2%
県全体			71 100.0%

(注) 上記図表は奈良県が「住みにくい」ため「移住したい」と考えている回答者がどのような理由で移住したいのかを把握するため、問6、問7、問8のクロス集計を行った結果である。なお、順位は少数第2位以下も考慮し決定している。対象者数は、問6「住みにくい」（「どちらかといえば住みにくい」+「とても住みにくい」）と回答し、なおかつ、問7で「住みたくない」と回答した人の人数である。

奈良県から移住したい理由として、「買物など日常の生活環境が整っていないから」（60.6%）が最も多く、次いで「通勤・通学に不便だから」（47.9%）、「医療が充実していないから」（47.9%）、「奈良県や身近な地域に愛着を感じていないから」（45.1%）が挙げられています。